無產階級鬪爭雜誌

進め！

The Susume

勞農の××的同盟…………………………コラロフ
反動幹部を曝露した關東合同第五回大會…………靑山欣次

定價十錢

10月

昭和四年九月廿八日印刷

本號一瞥

新勞農黨樹立絶對反對……卷頭言
反動幹部を曝露した關東合同第五回大會……青山欣次
日本運輸勞働に於ける望月組合長の裏切り……
强盗的支那ブルヂョア政府……佐々木敬三
東支鐵道回收に對する檄……××インタナショナル執行委員會
組合青年部組織に關する方針書……全農新潟縣聯青年部
新勞農黨樹立と各團體の聲明
農業調査の正體……全農關東地方協議會
産業合理化緊縮政策に對する組合協議會の鬪爭方針
戰爭準備の教化總動員……
朝鮮社會運動小史(五)(資料)……裴成龍
水葬(戯曲)……土佐和芳
勞農の××的同盟……コラロフ

勞働者の室を飾れ

マルクス大寫眞

内容

▲マルクスの生家
▲マルクス夫人
▲マルクスの原稿
▲マルクスの博士免狀
▲マルクスの署名
▲マルクスの旅行免狀
▲ロンドン亡命中のマルクス
▲ロンドンに於けるマルクスの住宅
▲資本論執筆當時のマルクス
▲晩年のマルクス
▲マルクスの墓

定價五十錢

マルクス大寫眞集

縦一尺五寸横九寸勞働者の家を飾るにふさはしきものだ。

(定價三十錢)

發行所

東京市外大井町坂下二六八〇

進め社本部

振替東京六九八五三番

新勞農黨樹立絶體反對

大山、細迫、上村三氏の新勞農黨樹立の提案は、三一五事件以來打續く政府の彈壓に抗してたゆみなき鬪爭をつゞけ來たつた戰鬪的勞働者農民を裏切つた提案であり、その云ふところは何であれ、第二の勞農派であり、水長の再生産である、むしろ、それ以上の裏切りであらう、何故ならば、勞農派の脱退は舊新黨準備會の少数分子であり、問題にされない不平分子のみで、彼等の捲きおこした策動に對して、三一五事件によつて有力な同志を奪はれてゐたとは云へなほ壓倒的に對抗し得るだけの同志を有してゐたに對して、今次の大山氏の場合は、四一六によつて再び檢擧をうけた後であり、殊に大山氏の如き勞農同盟の輝ける指導者であるがためにその波瀾は前者と比較にならぬ程重大であるから。

四一六の嵐によつてふみにぢられ、少なからぬ混亂を受けた左翼陣營にあつて眞に階級的立場を守るものならば、×の確立と大衆化の爲めに戰ふべきである。困難な鬪爭を放棄して×に對立する合法政黨を樹立する事は、無産階級の歴史的力を信じない哀はれむべき社會民主々義の脱落的行爲である。

この提案は、少なくとも濱口内閣の成功を意味するものである。何故ならば濱口内閣ならば結黨を禁止しないであらうといふ豫想の下に企でられた提案であつたから。此の事を提案書は、明かに物語つてゐる。大山氏は意識すると否とを問はず濱口内閣の分裂政策に呼應したものであり、それ故に所謂「新勞農黨」は資本家地主の代理人である。

大山氏等は聲を嗄して「社會民主々義ではない」と叫んでゐる。しかしながら、かつて勞農派が「俺達は社會民主々義者ではない」と云ひながら、行動が社會民主々義以外の何者でもなかつた樣に、大山氏の行動も×に對立する社會民主々義者の行動である。解黨主義者は、常に決定的瞬間において陣營を攪亂する歴史をもつてゐる。かつての輝ける大山郁夫氏は、世界的に最も惡辣な卑怯者になり下つた。

「プロレタリアの×はたゞ一つである」これは階級的良心をもつすべての同志が守つてゐる輝ける眞理である。無産階級の解放は社會民主々義では不可能であり、反つて決定的な裏切りをなすものである事は、全世界の勞働者が豊富に經驗したところであつて、同志は必ずこう云ふであらう。「×××のみが我々の勝利を約束する」と。そうだ、此言葉に間違ひはない。

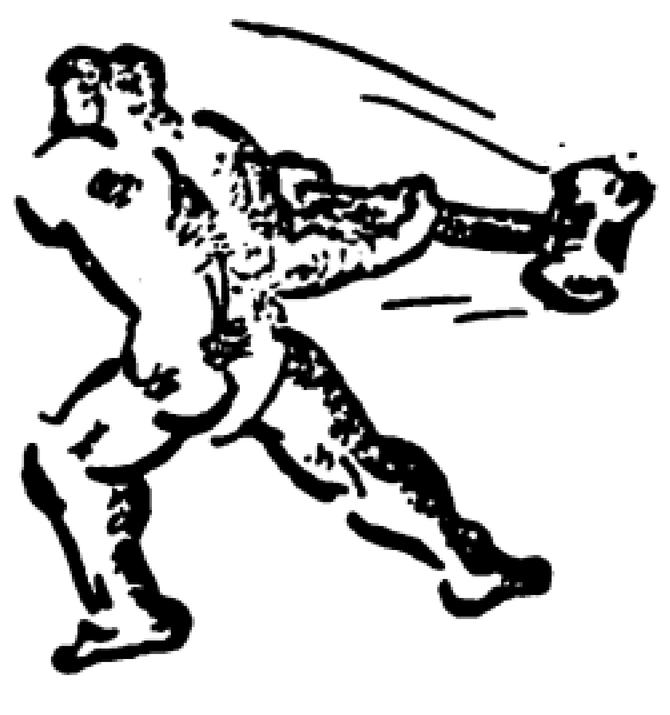
大山氏は、舊勞農黨時代の小市民的街頭鬪爭を忘れる事が出來ないのだ。氏等には地下室的な運動に堪える事は出來ない。現在左翼陣營の強化擴大のための鬪爭は工場に集中されてゐる。地味で困難な鬪爭であるだけに、大山氏の如く過古の華々しき時代が忘れられない人々には、まだるつこい、絶望的な氣持に陥入つて了ふ。こゝに小ブル的インテリゲンチヤの本質を示してゐる。大山氏に對しての嘗ての尊敬と歡呼とは、單に大山氏一個の人物に對するものではない。大山氏の代表した立場が、輝ける×××の立場であつたからだ。この立場を離れて何昔日の名聲があるとでも考へてゐるのか。

見よ、全土の勞働者農民は絶體反對の聲をあげ、如何に×の影響が強いかを示してゐる。「プロレタリアの×は一つである」

日本の勞働者農民も三一五以來この鐵の法則、世界の勞働者の血によつてきたへられた此の法則を戰ひ取つた。だから、勞農派の策動も水長の裏切りも粉碎し去つたのだ、今、ふたゝびかゝる裏切り的グループを粉碎しなければならぬ。濱口内閣の息吹きのかゝつた合法主義の阿片が横行する。社會民主々義的政黨のみ合法性を支配階級は許すのだ。われ〳〵の合法、非合法は階級と階級の力が決定するのだ。如何なる彈壓にもゆるぎなき力を工場と農村に獲得しなければならぬ。

左右社會民主々義を葬れ。「新勞農黨」樹立運動を粉碎せよ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



反動幹部を曝露した關東合同第五回大會

青山欣次

日本大衆黨の五黨合同問題を契機として所謂平野、麻生を首謀とする醜聞問題に端を發して大衆の抗議運動が勃然として起つた。

日本大衆黨の主柱たる組合同盟の大衆も抗議運動の急先峰となつて動きかけた。

そして此の運動は何時しか刷新運動なる名稱を與えらるゝに至つた。

然し其の當時に於ける刷新運動はダラ幹を社會民主々義幹部と規定しての反幹部運動ではなくして社會民主々義の何たるかを理解せざる所の自然發生的な大衆的抗議運動であつた、

或る時は「勞農派」と共同戰線を張り或る時は全く是れと離れての組合同盟大衆獨自の「反感的」運動として進行した

從つて當時の大衆の傾向は一塊の社會民主々義幹部を他の民主々義幹部と入れ替える事に依つて日本大衆黨及組合同盟を根本的に變革され得るかの如き幻想をもつて居た爲に刷新運動も社會民主々義運動以外一歩も出でなかつた。

斯かる刷新運動の進行過程に於て大衆は今日實踐を通じて社會民主々義の何たるかを理解しプロレタリアーイデオロギーを把握した。

他方日本大衆黨成立と前後して社會民主々義者の影響下にある全青年大衆の全國的青年運動が臺頭し、ブルジョアジーと民主々義幹部に對し鬱積されたる不平不滿を抱きつゝ「階級的使命」を宣言して青年運動の全國的組織を作るに至り尚進んで青年運動の心臓たる東京府支部が創立されて以來民主々義的自然發生的反幹部運動はようやく意識的反對派運動へと飛躍的發展を遂げると同時に民主々義幹部の抑壓は一段と高まり凡ゆるデマゴーグとスパイ的行爲までなした。

組合同盟の重要なる支柱をなす關東合同勞働組合の大會は斯かる大衆の鬱勃たる不平不滿を内包して開かれたる大會であり來るべき組合同盟の大會に於て大衆の正當なる階級的闘爭意慾が如何に導かれるか客觀的に影響を及ぼす劃期的前哨戰である

彼等一連の民主々義ダラ幹が自己の犯した數々の罪惡を隠蔽し其の階級的裏切を合理化する爲にとつた唯一の道は彼等の今日までに於ける所謂「名聲」と半意識的大衆を彼等の暇に都合を得て東奔西奔反對派のデマゴーグと譯の解らない理屈を吹込んで此の大會を數に依つて反對派を克服せんと寝食を忘れて策謀した。

もとより此の大會は官憲の厳重なる監視の下に開かれた會合であり彼等民主々義者は官憲に擁護されながら討議される場所であるだけに彼らとの闘爭はすこぶる技巧を用する場合である、從つて彼等には言論の自由が與えられてゐるが、反對派には與えられて居ない。

而し反對派は最後まで戰かつた、彼等の意識的迫害を蹴飛ばして數々の罪惡を餘す處なく曝露し最大限度まで反對派の威力を發揮した大會の空氣を知る一方法としてダラ幹共の議案と反對派の議案とを比較檢討して見る

反對派の議案

- 自主的組合青年部確立の件
- 産業別整理の件
- 國際勞働會議否定の件
- 闘爭方針書

幹部派の議案

- オートバイ購入の件
- 大會宣言
- 運動方針の件
- 教育用パンフレットの件
- 議會解散要求の件
- 勞動立法獲得運動の件
- 失業反對運動の件
- 關東合同本部並に支部組織改正に關する建議案（小松川第一支部）

彼等ダラ幹の議案は一つとして階級的な内容がない。新帝國主義戰爭を前にして支配階級の勞働者農民への彈壓と×使が如何に政治的經濟的に反映して居るかを抹殺して居る

「議會解散要求」の如きも單に大會の裝飾に過ぎなく勞働者農民彈壓の爲めの議會として規定するのでなくより多く民主々義者が議會へ出ればそれだけプロレタリアーの政治的地位は變革するものであると議會主義をふり撒いて居る結論に於ては決議文を大臣大將の手元へつきつけるのが議會解散の運動であると云つて居る。そんな事で崩壊する程ブルジョアー權力は薄弱ではないのだ。

反對派の階級的議案國際勞働會議否認と闘爭方針書をスパイと密議して議案を沒收して徹底的に葬り去つて了つた。

彼等の陰険にして悪辣なる行爲はすでに勞働者としての常識と理性とを超越して居る。

彼らは最早勞働者の味方では無い、勞働運動家の假面を被ふた資本家地主のマワシ者である。

いよ／＼質問戰に入るや反對派の爆撃に遺憾なく彼らの反動性を公然と大衆の面前にサラケ出した。

過ぐる日、世界プロレタリアーを裏切つて勞働者農民を戰爭へ戰爭へ！とかり立てゝ俺

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

達の同胞へむごたらしい死を強制した勞働貴族アルベールトーマの糾問會が一夜にして招待懇談會になつてダラ幹の大親分望源がトーマに握手したり感激したりして大いに忠實振りを盡して未來の國際勞働代表を夢みて居た事が下からの大衆の壓力に依つて木葉微塵に擊破されてしまつた。彼は斯ふ云つた。「國際勞働會議は本質上利用價値がないが而し友誼團體との關係上否認する事は不利である」。「大衆はまだ否認するまでには意識して居ないから今否認する事は早計である」と。馬鹿も休み休み言へ。「本質上利用價値が無い」のに此れを利用すると云ふ事は大衆に國際勞働會議がプロレタリアに對して利益をもたらすが如き幻想を呼び起し協調主義の惡影響を助長しブルジョアジーへの一歩屈服である。「友誼團體」に名をかりて彼望源は國際勞働代表たらんと野心を計劃したのである。「大衆はまだ否認するまでに意識して居ない」と云ふ事は眞赤なウソだ總同盟の大衆でさえも昨年の大會に於て否認の議案を出したではないか、組合同盟の高砂工友會はすでに正式に否認して居るのみならず全國の大衆は或は形式的にはしてゐなくても事實上否認してゐるのだ。未だ否認して居ない大衆があつたとしたならば「本質上利用價値が無い」のだから其の反動性を大衆にアッピールして意識づけるのがリーダとしての任務である。それをせづに「大衆は意識せず」とはどことをどうして言つた義理があつたものか。

東京帽子長契帽子兩爭議の彼等の裏切は世間一般周知の事實である。それにもかゝはらずダラ幹は自己の裏切を巧みに合理化さんとしたけれども反對派にコッピドク追求曝露されて遺感なく彼らの官僚式專制支配の感情的統制慾をムキダシにされて顏色なく答辯もシドロモドロで滿場の嘲笑をあびせ掛けられた。オートバイ購入の件は見事滿場一致の提議で否決されて了つた。松岡が國際勞働會議でウント金儲けをしてオートバイを買つてウナラして居るもんだからそれが羨ましくてならないのだらう。ダラ幹の根性とはこんな根性だ。組織改正の建議案の審議の時突如として反對派の同志が運輸勞働組合の組合長をして居る望源が運輸勞働組合を運輸資本家と通牒して賣渡さんとした罪惡の事實が曝露された。これに面食らつたダラ幹の一連は周章狼狽総立ちとなつて戰闘的同志の發言を防害し會場は極度に喧騷の巷となりスパイはダラ幹の味方をして今にも解散をなすが如き抑壓を加えたが同志は依然として屈する事なく曝露を續けたが遂に其の全部を曝露するまでに至らなかつた。而し此の事實を知つた大衆は憤激した。望源の狼狽振りは常態を通り越してむしろ滑稽であつた程である。斯の如き裏切者望源も共の一黨とスパイの精力的援助に依つてからうじて議長席へ腰を下したが彼ら一黨の顏色は蒼白として生氣を失つて居た。この大衆の壓力に恐怖したダラ幹達は又スパイと通謀して時間に名をかりて反對派の階級的議案（自主的組合青年部と産業別整理）を審議未了に終らしめ議案の採決を擴大理事會に廻してしまつたのだ。そして今尚擴大理事會を開く事をせず彼望源は愛妻と共に（彼の妻は運輸會社の社長の娘だ）避暑に閑日月を送つてゐる。俺達勞働者は毎日百度の暑い工場で酷使されて居るのだ。老猾にして厚顔無恥な望源は數々の罪惡を曝露されても退く事なく以前通りに組合長の椅子へ腰を下したが彼と共一黨の餘命が何時まで續くかこれも興味の一つである。

關東合同勞働組合第五回大會は關東合同創立以來甞て無い意氣潑溂たるしかも階級的與生への意義ある而して紛糾した大會であつた。來るべき十月の神戸で開かれる組合同盟の大會は關東合同の大會より一層大衆的階級的進出をなすであらう。

俺達は飽くまで彼等社會民主々義者と戰ふのだ、それが俺達戰闘的勞働者の任務である。

社會民主々義者は即反動である

ダラ幹の親分望源と共の一黨を葬れ

輝ける組合同盟の階級性を戰ひとれ

勞働組合の戰闘的統一萬歳

× × ×

仲の良い資本家とスパイと組合幹部

大阪合同紡績の住吉工場の勞働者が、爭議對策を練つてゐる、八月二十九日、組合同盟と云ふ勞働組合の幹部さんで、男爵の山名義鶴閣下と、尼ヶ崎市會議員の藤岡文六君の御兩所、大阪合同紡績會社の本社を訪れ、同社の勞働課長片山菜と會談數刻後三人相乘で自動車をブ、ー―一體行先は何處だらう？知り度い人は男爵と市會議員に聞き給へ

× × ×

關東合同の大會の日、當晩遊のスパイ會場の便所で、小松原君とバッタリ顏を合てニッコリ握手がすんでさてもそれから、「君の方の組合も大分左へ寄つたせ、ウント彈壓してやるかなア……」そこで小松原君曰く、「ウン全くだ、困つてゐる、頼む々々」、と。

× × ×

以上は何れも、吾々の常識では判斷が出來ないが、嘘のような、ほんとうにあつたことである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本運輸勞働に於ける望月組合長の裏切り

讀者は以下掲げる同志TがKに與へた書簡によつて、改良主義者の裏切りを「もう澤山だ」と云ふ程知られるであらう。この手紙こそ過ぐる組合同盟關東合同勞働組合大會において戰闘的勞働者の手によつて曝露されんとした望月源治君の醜關係作の内容を盛られたものである。（青山欣次君の關東合同大會記を參照）問題は一人望月のみを指すものではない。社會民主々義者全體の共通した本質であり行動である。銘記せよ。組合同盟はかゝるダラ幹の巣窟だ。（M生）

親愛なるK君！

酷熱の今日此の頃なるにも拘らず不斷に解放戰線の最前線に立ちて果敢なる闘爭を遂行しつゝある君達同盟の若き青年部員諸君に對して俺は爰に深甚の感謝と敬意を捧げるものだ。

親愛なるK君！

君達の所屬する合同の光輝ある第五回大會も愈々目捷の間に迫つたね、從つて組合の中堅である殊に日頃より同盟の刷新を標傍して同盟内部に巣喰ふ社會民主々義ダラ幹と執拗果敢に闘つて居る、君達青年部員の此の頃の關心は定めし此光輝と意義ある大會を如何にして自分達の方へ闘ひ取らんかにかゝつて居る事だらふ、そして目下の君達は定めし其の爲の準備に忙殺されて居る事だらう

親愛なるK君！

同盟は君達若き青年部員の主張する如くそれは此際徹底的に刷新されねばならぬ、見よ!!同盟の今日の爲體を！强固なる戰闘的勞働組合としての名聲が果して何れにあるか？同盟の建設當時の光輝ある精神は今何れに存在して居るのだ？我々は今其處に其の片影すらも見出す事が出來ないではないか？現今の同盟は正しく墮落して居る。同盟は正しく腐つて居る。現在社會民主々義的幹部の無能無力と其意識的な裏切りとが之れを其處へ導いたのだ。そふだ！同盟は此の際斷然刷新されなければならぬ。内部的に改革されなければならぬ。實に同盟の刷新と改革とは同盟の全大衆の意志なのだ。そしてそれを徹底的に遂行し得るものは實に同盟大衆の中堅たる君達青年部員の力以外に斷じてない事を俺達は堅く信ずる

親愛なるK君！ 俺は以上の意味に於て將に開かるべき合同の第五回大會こそは實に重大なる意義を以て居ると思ふ。此の大會こそ實に同盟の所謂失はれたる精神を奪還し同盟を現在の腐敗と墮落とから救い以つて名實共に正しき位置に立直す事を切望する。君達同盟の若き刷新的青年部員の上に惠まれたる又となき機會であり、絶好の舞臺であるからだ。

親愛なるK君！ 君達は斯る重大なる意義を持つ處の第五回大會には同盟の刷新てう同盟の全大衆の輿望を双肩に擔つて定めし奮闘する事だらう。そして俺達はそれを信じ且心から期待して止まぬ、俺は其際の君達の奮闘の一助にもなるかと思つて、君達の合同の組合長であり且つ同盟の爭議部長たる處の望月源治氏が如何に俺達組合員の風上にも置けぬ憎むべきダラ幹であり裏切り者であるかを證明するに足る一つの事實を爰で君に傳へよう。俺が君に對して筆を執つたのは其の爲だ。

斷つて置くが俺は個人として望月源治氏に對して何等の恩怨を持つものでは決してない。否反對に俺は從來望月氏に對しては乍陰敬意さへ拂つて居たものなのだ。從つて氏に對する人身攻撃は敢てし度くないのだ、だが事苟くも同盟其のもの、生命にも關する事なのだから、俺達は斷じて默して居る事は出來ぬのだ。君諒せよ。然らば其の事實とは一體如何なる事か？君達驚いてはいけない、望月氏は氏が組合長たる我々の日本運輸勞働組合をそつくり其のまゝ我が運輸勞働組合の闘爭の相手たる合同運送の資本家に賣付けようといふ、大陰謀を企てたのだ。併し乍ら幸にして事は我々組合員に依つて未然に觀破された爲め遂行されずに濟んだが、若し我々が之を觀破し得なかつたとするならば果してどういふ結果になつて居たゞらうか、考へて見た丈でも慄然たらざるを得ないではないか。

初め我が運輸には汐留、丸の内、新宿、中野の四つの支部があつたに過ぎなかつたのだが、去る四月二十一日大崎會館に我が運輸が本年度大會の準備會を持つ爲めに各支部より代表者、各數名を送つた際新たに目白、池袋、大崎の三支部が設立された事を本部員より紹介されたので兎も角組合の發展上慶賀すべき事だと各支部の代表者たる我々は喜んだ次第だ。それから第一回準備會は開かれて二三の議案が片附けられた後望月組合長は新設の目白支部の意見なりとして從來の日本運輸勞働組合といふ名稱は、勞働と云ふ字がどうも面白くないから、日本運輸從業員組合と名稱を變更してはどうかと提案した提案理由は勞働ではどうも驛の事務員が入らないで困る、といふ只それのみであつた。

其處で我々は、日本運輸勞働組合は現に嚴然として存在して居るものである、それを後から加盟した一支部の意見に依つて輕々しく變更する事は出來ぬ、第一變更の理由が如何にも薄弱だしそれに提案形式が相違して居る、即ち今夜は組合大會の準備であつて斯る議案を審議すべき場合ではない。併し若し飽く迄變更の必要ありと思惟するなれば、それは後日理事會等へ正式に

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

提案すべきだ、第一目白支部は今夜初めて此の席に列したのみで未だ理事會等で正式に加入の承認もして居ないのだから。と提案の撤回を求めたが、飽くまで頑張つた爲め遂に時間の關係上其の夜は他の重要議案の審議も未了のまゝ散會となつて了つた、越へて四月二十四日我々は第二回準備會を今度は目白の某そばやに於て持つと云ふ通知を本部から受取つた。我々は某そばやを訪れた。處が會場は如何なる理由か其のそばやと二三町離れた。小野某の宅に變更された事を我々は知つた間もなく我々は小野某の宅前に立つた。我々は驚いた、恐らく目白の組合員の宅でもあるだろう位に我々が途中考へた會場は實に堂々たる門構へのブルの大邸宅ではないか、一體何の緣故で我々の會合をこんなブルの大邸宅などに持込んだのだろう？我々は疑つた。だが此の疑問は間もなく解けた。併し乍ら我々の頭の中には此處に更に〳〵

大きな新しい疑問が油然として湧いて來たのであつた。そしてそれは我々にとりて抑へても抑へても抑へ切れぬ程不愉快な氣持を伴つたそれであつたのだ

K君！驚いてはいけない、此の小野某の宅こそ目白の合同運送の社長の邸宅であつたのだ、改めて斷るまでもなく、此の合同運送會社こそは我々の日本運輸勞働組合が將に全力を傾倒しても闘はんとして居る處の當の鬪爭相手なのだ。其の社長の邸宅の中に、——言ひ替れば敵の家の中に組合長望月氏は組合の重要なる會合——組合の將來の行動方針を決定する會合を持つて行つたのだ。望月氏は一體如何なる必要と理由から組合の重要なる會合を態々目白の資本家の邸宅の中迄持つて行かねばならなかつたのだろうか？　我々は少くとも此の一點丈からでも望月氏に階級的常識と階級的良心の持ち合せがあるかと反問せざるを得ないではないか？此の時我々は思つた望月氏は確にどうかして居ると。だが我々の此の疑惑に違はず望月氏は確にどうかして居た此の夜の會合に於ても組合長望月氏は我々組合員として絕對に赦す事の出來ない大なる罪過を犯した。望月氏を議長とした其の夜の第二回準備會は議案を急速に審議可決した後又もや前回の續きの組合名變更問題で紛糾其の極に達した。目白支部が案を撤回せず飽くまで自己の主張を通さんとしたからだ。

共處で我々は此問題は一切議長たる望月氏に委すと主張した處が望月氏はそれでは仲に入つた自分が困ると云ふのだで我々はそれなれば「討論を打切つて採決にせう、それが最も公平だから」と提議した、處が望月氏はそれでは自分が尙更困ると云つてそれを肯んじない許りか目白支部に原案を撤回させようともせず却つて目白支部員の主張に共鳴するが如き口吻をもらすのだ、斯くて其の夜の第二回準備會も結局此の問題の爲めに貴重な時間の大部分を空しく徒費して夜十二時近くなつて又もや有耶無耶の裡に散會して了つたのだ。一體此の問題に就て望月氏に何等邪ましき、意圖なしとするも之しきの問題——我々の常識で考へても殆んど問題たり得ぬ程明々白々の問題を斯く迄紛糾せしめて解決爲し得ぬと云ふ事は組合長としての望月氏の大きな責任問題ではあるまいか？望月氏は少く共此の問題に關して無能のそしりを免れぬ事は斷じて出來ないだらう。だが、我々は組合長の無能は尙忍ぶだが斷じて赦す能はざるは望月氏の惡辣陰劍なる裏切りである。後で判明した事だが第二回準備會の席上に於て目白支部を代表して組合名變更問題の爲めに徹頭徹尾終始準備會をかき廻した男は實に支部員でも何でもなくて目白の合同運送の社長小野の馬鹿息子だつたとの事だ。(望月氏の妻君の兄)

實に呆れてものが云へないではないか、勞働組合の重要なる會合を資本家の邸宅で開き而も其の席上へ組合員でも何でもない資本家の息子を列席さして重要なる發言を敢し折角の組合の會合を目茶目茶に蹂躙させて了ふなんて全くこれが正氣の沙汰と云へようか？

だがK君！望月氏をして斯る非常識なる馬鹿を敢て演ぜさせた所以のものは決して偶然ではなかつた。望月氏は實に我々の日本運輸勞働組合其のものを合同運送の資本家連の手に秘かに賣渡さんとの大陰謀を組織的に企畫して居たのだ。我々の其の後の調査に依つてその間の消息の一切が判明したのだ。聞く所に依ると望月氏の妻君の父たる目白の合同運送の社長小野某は他の資本家仲間の意圖を受けて之等の資本家等の目の上のコブたる處の日本運輸勞働組合を骨抜きにせんと企てたのだがそれには幸にして日本運輸勞働組合の組合長が自分の娘婿たる望月氏である處から先づ小野は此の自分の意圖を望月氏に打明けた處望月氏は之を二つ返事で引受けたとの事である。併し望月氏が此の陰謀を遂行するには自分の現在の立場は色々の意味に於て都合が惡いので自分は運輸の組合長を本年度の大會限り辭任して後任を自分の妻君の姉婿たる俵某……日本大衆黨に巣喰ふ札附きのダラ幹——に讓り以て凡ての筋書を豫定通り遂行せんと秘かに義父たる小野の前に誓つたとの事である。以上の事は第二回準備會の直後我々が望月氏を知る周圍の人々から直接知り得た事であるが果せる哉第二回準備會から一ケ月も遲れて同盟本部に開かれた運輸の第三回準備會の席上で望月氏は我々の豫想に違はず組合長の辭任を表明し後任に俵某を推したのであるだが、豫め以上の經緯の一切を知悉して居た我々は俵某を支持する目白支部と大論戰の後遂に此の案を一蹴して了つたのであつた(中略)

望月源治氏の「陰謀事件」とは槪略以上の如きものである。彼の此の手紙には誓つて嘘僞がない事を保證するT生　八月十三日

組合青年部組織に關する方針書

——全農新潟聯合會青年部——

（掲載する方針書は八月三十日開かれた全國農民組合新潟縣聯合會大會において可決されたものである。）

農民組合青年部は現在では全國農民組合内にのみ組織されて居り、それも未だ大衆的組織としての段階に入つてゐない。今年三月の全農大會に於ける自主的組合青年部組織の決議を經て、全國的に捲き起された青年部組織の活動は、かの四、一六事件の暴壓のために、前進への進展を阻止された狀態にある。吾々はかゝる萎縮的狀態を克服し、敢然たる青年部の組織と活動に進まねばならぬことは討論ずみの問題であり、如何なる迫害にも屈せず執拗にその鬪爭を押し進めねばならぬ。

青年部の意義と役割

組合青年部の意義として役割を定める基本的情勢と條件は、現在の資本主義日本の情勢と、その情勢下に於ける青年の地位、階級鬪爭の發展の速度情勢に依つてである。

一、帝國主義段階に入つた世界資本は必然の發展過程としてかの歐洲大戰に導き、そして其は世界資本主義共自身の致命傷たらしめたが、世界資本主義の必死的救命運動の努力に依て崩壊を切りぬけ一時的安定の域に入つた。然しそれは一時的安定にすぎないものであり、世界經濟のバランスは口×のついた爆彈に等しい狀勢にある。即ち列强資本主義の對抗は×發の×夜を用意ある沈默の態度で進みつつあつて第二世界帝國主義戰爭の危機は切迫してゐる。

二、世界資本主義の一員たる資本主義日本も世界資本主義と同一の軌道を辿るものであることは明白な問題であり、事實それを目がけての發展道程にある、特に生産力の增大と國内市場の狭少及國内資源の貧弱を轉向するための唯一の販賣市場たる支那に於ける支那革命運動の發展は益々資本主義日本を困難なる地位におかしめる。

三、かゝる如き新帝國主義戰爭の切迫は、資本主義日本をして全××を動員しての××準備にかりたてずにはおかないし、かりたてゝゐる。

四、戰爭へ！戰爭へ！の準備は、戰爭の決定的エネルギーたる青年、即ち勞働青年、農村貧農青年及び都市小ブル青年に對して青年訓練所、官制青年團、補習學校等々への强制的組織ゝ教育を押しかぶせて、××の××を確保せんがために全力を傾倒する。

更らに在郷軍人會その他の反動的團體の編成に力を注ぎ、全般的には凡る敎化娯樂機關を揚て×××××の白色運動に國家權力を先頭隊として狂奔してゐる。

五、資本家地主政府は青小年の×の犧牲を確保するための手段方法として反動敎育を行ふと共に一切の政治的自由、權利を××してゐる。

六、戰爭準備の經費は國家豫算を喰ひ盡し、消化し盡す程の壓倒的多數額であり、勞働者農民より××徴發せる××を以て保證されてゐる、勞働者農民の日常生活は國家權力に××され抑壓に任せられ、最後の×の一×までも資本家地主政府に支配されてゐる。

七、資本主義下に於ける經濟的利害は勞働青年、農村貧農青年及都市小ブル青年に於いては、それ〴〵の層に應じそれ〴〵の異つた利害に立つてゐる。

八、プロレタリア青年は、産業合理化への發展のもとに、强度の搾取と迫害にさらされてゐる、特に生産單純化は青少年並に婦人勞働者を以て成人勞働者に代へ、同一勞働に對し極安の賃銀を强ひられてゐる、そこにこそ勞働青年の特種的利害があり、不平がある。

九、農村貧農青年は、プロレタリア青年の如く直接的に經濟的搾取をうけてゐない。然し部分的には增加の傾向にある自由勞働、手間仕事又は農業勞働の從事によつて、資本家及地主からの極度の搾取をうけてゐる。これは農村プロレタリア青年であり前者は農村貧農青年の部類に分けるべきである、が然し、全般的に主として農村貧農青年であつて、純粹の農村プロレタリア青年は少數にしかすぎない、その貧農青年は、家長と共に農業に從事するが故に、家長の利害は直ちに貧農青年の聯關的な利害となる。それが故に、家長の地主に對して行ふ減要求運動、立禁反對の鬪爭等に於いては、積極的な周心と熱意を持たしめられる、即ち對地主との鬪爭、組合に對しては最も戰鬪的補助體となり前衛隊となる。勞働青年の如く直接的な經濟的利害關係に立たしめられず、從つて直接の要求は持たないが、聯關的な經濟的利害關係に於いて、强き關心を持たしめられ、鬪爭にかりたてる。

十、都市小ブル青年は資本主義の發展に比例し、相應して行く層の青年であつて、歴史の齒車を後にもどさんとする小ブル意識を持つ、浮動的な反動的な層である。

十一、かゝる基本的な情勢は、帝國主義戰爭反對の執

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

拗なる、果敢なる廣汎な範圍に於ける闘爭にかゝりたてる、その重大な役割をはたして行くための青年運動の情勢はどうか。

十二、左右社會民主主義勞農組合及び政黨に於いて、は青年運動の發展は官僚幹部の自己バクロとなり、失脚を意味するが故に、それを極力サボタージュし、抑壓して來た、青年の特殊性を抹殺して了ひ成人勞動者と同じに組合に組織してゐる。又は社會民主主義幹部の指導下にある青年前衛隊、青年部等はそれを組合運動を活潑にするための組織として止まらしめ青年運動への發展を抑へてゐる。

十三、青年同盟として、社會青年同盟、勞農青年同盟、×××同盟があり、社會青年同盟は社民黨系の青年分子が自然發生的に組織せんとしたもので、その途上反動幹部の解散命令にあつて御手製の青年同盟とたつてゐる。

勞農青年同盟は大衆黨結成後に舊日勞黨無産大衆黨、日農總系の青年によつて組織されたものであるが、舊農民黨、舊無大黨の大衆黨よりの脱退と同時に脫退又は除名になつた、そして勞青に殘つた舊日勞黨青年分子は大衆黨の社會民主主義部幹排擊と改造、勞青解消、×××同盟大衆化の運動を開始してゐるが、舊無大系は別個の組織を以て反××の運動に進んでゐる。尚ほ縣下に於いても勞青との關係上結成された裏日本青年同盟も、如上の勞青内に引き起されたが如き×青派、反對派の對立を持つてゐる、要するに勞働者農民の唯一の黨は一であるが如く、勞働青年、貧農青年の唯一の同盟は×××同盟以外にあり得ないし、あり得さしめてはならない、直ちに如上の青年同盟それ自體を解消せしめねばならぬ。

十四、××××同盟の補助組織としての組合青年部の必要性を抹殺してはならない、×青大衆化の最も廣汎な基礎となり、貯水池となる組合青年部の組織が、全的意義を占める。

青年部は如何に組織し活動すべきか

以上の如き意義と役割は、われ／＼は如何に青年運動を押し進めねばならぬかの確答を引き出すことを得る。

一、青年部は貧農青年を最も大衆的に抱擁し動員するために、貧農の大衆的團體たる農民組合内に組織しなければならぬ。

二、その青年部は、聯合會内にては聯合會青年部地區委員會に地區青年部、支部内に支部青年部班内に班青年部を組織すること。

三、その青年部は組合の鬪爭に密接に結びつき全活動に參加しなければならぬが、組織的には自主的な獨自の機關を持ち、大會又は代表者會議にて選ばれた指導機關を持たねばならぬ。

四、組合に對しては、聯合會常任執行委員會には聯合會青年部代表、地區支部、班の青年部も同じく代表を組合の正式機關に參加せしめて、發言議決權を持ち連絡統制を圓滑ならしめねばならぬ。

五、青年部費は聯合會、地區、支部、班等夫々それと平行する組合費から支出せしめねばならぬ、特別の費用は青年部にて徵集すること。

六、勿論青年部は全國青年部の支部となり、その活動の基礎となるものである。青年部の當面の活動方法としては

一、活動の重點を組合におき各地域のオルガナイザーを決定し、目標地域に對し、即ち右翼幹部の指導にある組合支部又は爭議の激發せる地域の組合に對しては、その調査を行ひ、直ちに青年の有志の座談會によるアヂと組織活動を行ひ、青年部に組織して行くこと。

二、未組織地の青年に對しては、一般的な青年の不平不滿と土地問題を中心とする地主小作の鬪爭の必要性等によるアジによつて青年部の組織と引いては組合の組織に發展せしめること。

三、既たる組合、社會民主々義團體等の青年に對しては、日常の協同戰線によつて下からの青年部の組織又は自主化に進ましめねばならぬ、勿論改良主義幹部は反對の態度に出でるが、この場合は斷然反對勢力の結成を以て進まねばならぬ。又、組合内の社會民主主義的傾向、幹部に對しては反對の立場を以て進まねばならぬ。

四、青年部員の理論的政治的教育はマルクスレーニン主義的教育方針をとり、鬪士の養成に進むことゝ「無産青年」讀者會、研究グループの組織、定期又は不定期の座談會によるアヂ等を行ふこと。

五、青年的運動方法を採用し青年の好む娛樂、スポーツピクニツク等々を行ひ、青年部自體を生々した青年らしきものとすること。

六、救援會の支持、救援運動への積極的活動。

七、自衞團を組織し白色テラーに對抗する組織たらしむること。

× × × × ×

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

強盗的ブルヂョア支那政府

佐々木敬三

（一）帝制ロシアと東支鐵道

帝制ロシアが、日清戰後の三國干渉の餘威を假つて、東支鐵道を自己の手に收めたのは實に一八九六年で、一九〇〇年の團匪に際しては機至れりとばかりに、滿州の地を掩有した。帝制ロシアは農業國であり、從つて土地を欲する事は、渇ける人の水に於ろが如くであつた。併し、日本も亦同樣に植民地獲得に焦慮してゐる時代で、必然的に日露の衝突となり、結局、滿州を南北に分割して日露兩國が之の支配權を握ることになつた。當時、世界の資本主義國家は、既に領土獲得による資本主義的支配の時代を脱し、市場獲得、資本輸出等の武器による征服を企てつゝあつた事は、米國が唱へた支那に於る門戸開放、機會均等の宣言が容易に諸列強に承認されたのに鑑て明瞭である。後進資本主義國たる日露兩國はこの大勢におされて、滿州を自己の版圖とする野望を棄てざるを得なかつた。併し、鐵道沿線には支那の主權を排斥し、全く日露兩國の延長であつた。東支鐵道敷設の當初、如何なる特權を獲得したか、左に列記してみよう。

(1) 鐵道沿線の守備權
(2) 松花江航行權
(3) 鐵道の敷設、經營に關する權
(4) 鐵道附屬地の收用權
(5) 鑛山採掘權
(6) 電信電話の架設經營權
(7) 郵便の設置權
(8) 輸出入關税減免
(9) 司法權
(10) 附屬地の行政權（警察、課税）

帝制ロシアの得た特權は、また日本が南滿州に有する特權である。領土獲得時代の資本主義國家は、如何に他人の藉口を失敬するに鐵面皮であるかを知られるだらう。

（二）ソビエット・ロシアの出現

一九一七年、帝制ロシアは崩壞し去り、ソビエット・ロシアは、全世界被壓迫大衆の前に其の力強き姿を現し來つた。弱小民族の解放に助力し、帝制ロシアが此等弱小民族から奪ひ取つた特權の一切を放棄する旨を宣言するに至り、ソビエット・ロシアは弱小民族解放の明星として、世界××への道に更に巨歩を踏出したのであつた。

一九一九年七月には、帝制ロシアの收得せる支那に於る特權を放棄する旨を宣言した。かくして、殘るは、單に、東支鐵道そのもの丶所有と經營の問題となつたのである。

しかも、東支鐵道は、五十年後には無償返附するものであり、それ以前と雖も、相當の價格を以て讓渡することを約した露支協定が存在してゐるので、ソビエット・ロシアは東支鐵道の所有に固執するものでなく、且つ、東支鐵道は國際鐵道の一部分として、純商業機關たる事を規定し合つて居る。經營は、露支兩國より同數の理事を選出し、この理事會が最高の議決機關となつてゐる。東支鐵道の經營、存在に就いては不合理と思惟せらるゝ點はどし／＼更改せられゆくにも關らず、張作霖は横車を押し切り、ソビエット・ロシアに對し東支鐵道を通じ、在留ロシア人の自由剝奪を通じて挑戰してゐた。東支鐵道所屬の船舶を武力沒收し自己の海軍に編入する位のことは朝飯前まへの仕事だつた。これが被抑壓大衆の解放のため、財布の底をはたいた友人ソビエット・ロシアに對する、封建支那の代表者達の接待ぶりなのだ。

（三）支那××の進展と墮落

だが、支那封建軍閥の背後には帝國主義諸國家が控へてゐるのだつた。ソビエット・ロシアの影響を支那及自國の勞農大衆に及ぼす事を極度に恐怖しながら、ソビエット・ロシアの弱化による利得めがけて最も勇敢なる彼等は支那の封建軍閥を支援し利用する事に拔目はない。

第三インター及び支那の勞働者農民は、此間何を爲したか。英國ブルヂョアジーに先づ反旗を掲げた武漢鐵道の勞働者は、「武漢工人流血記」を全支のプロレタリアートに贈り、廣東、香港の大罷業にまで展開し、國民黨は××黨を容れざるを得なくなつた。

我々は屢々廣東から武漢まで進出した國民××軍、――南支の××的勞働者農民の燦たる功績を傳へた、と同時に昨年以來、この成功せる革命を裏切りブルヂョアジーの軍門に降伏せる國民黨、蔣介石一派の醜態と運命を餘す所なく諸君に示して來た。これ等は、第三インターと支那××大衆の側面的記録である、同時に、日、英、米、其他の諸帝國主義國家の陰謀と、支那ブルヂョアジーの帝國主義への屈伏の歴史であり、支那××大衆が、白色テロルの裡になほも敢然と戰ひ拔きつゝある證でもある。

北京の露國大使館捜査、露支斷交、奉天總領事館捜査は、帝國主義國の尻押でなされたソビエットいぢめだ。廣東十二月革命は、勞働者農民の政府が支那國土の内に樹立された最初の記録であり、白色テロルを蹴とばして進む支那××黨の躍進的な活動は、支那の勞働者農民の白熱的な支持をうけてゐる。以上の二例の事實は、反××勢力が、ソビ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

エツト・ロシアと支那の××的勞働者農民に向けてあらゆる迫害を惜しまぬ事を語るものだ。

（四）國權回收熱と支那ブルヂヨアジー

阿片戰爭以來の支那は、諸帝國主義國の半植民地存在であり、從つて支那の國土が有する一切の近代的産業の物質的要素を奪取されてしまつた。一九〇〇年の團匪事件は、これに對する支那國民の原始的な憤怒が凝結した結果であり、それ以來、排外的感情と結合せる國權――利權回收熱が支那ブルヂヨアジーの間に勃然として生じ來つた。これがやがて民族革命の動因となり、國民黨の使命をして支那ブルジヨアヂーの獨立であると考へさせた所以だ。されば支那ブルヂヨアジーは常に利權回收のため隙を窺つては運動を起した。しかも此運動は勞働者農民の戰鬪分子の參加によつてのみ成功を齎され、この運動の裡に勞働者農民は自己の行くべき正當の道を發見した。それは兎も角、支那ブルヂヨアジーは、自己の生存のためには、奪はれたる一切の利權を回收する事が不可欠の要件なのだ。今や國民政府が完全にブルヂヨアヂーの代表者として、支那××黨の敵手として立向つてゐるのだ。彼等が支那ブルヂヨアジーのために身命を惜しまない樣な顏付きをして見せねばならぬ。舊型封建軍閥の打倒、裁兵の實施、滿州の中央隷屬、××黨、勞働者農民への××限りなき迫虐、――大衆的××――等を敢行した彼等は、國權回收へ向つて前進しなければならぬ。しかも國權の回收は最も弱き部分最も抵抗の少き部面から始められた。その槍玉は先づ、ソビエツト・ロシアであつた。帝國主義國家からの憎まれ者ソビエツト・ロシアに振りかざす刄なら、帝國主義者共は一致して支那ブルヂヨアジーを助けるだらう。助けぬまでも知らぬ顏をするだらう。ソビエツト・ロシアと支那の勞働者農民を繋ぐ一條の鐵路――强奪と不法に非ずして、友誼と同情の結果たる東支鐵道の回收に突貫した。支那が東支鐵道に投じた費用は僅々五百萬兩に過ぎず、過去五ケ年に同鐵道より支那の得る收益は實に五千八百五十萬留に達してゐる。かゝる利益を享受しながら、武力的回收を企てた支那政府の勇敢さに驚嘆すると共に、全露の勞働者農民がソビエツト政府の政策を支持して對抗しつゝあることは當然過ぎる當然として首肯される。

（五）國民政府と諸帝國主義國家

この東支鐵道回收の直接下手人は張學良である。彼は今では國民政府の一員として員には備つて居るが大外樣大名であるから、何か目ざましい土産首が必要であつた。所へ、國民政府の東支鐵道回收の方針が通達されたので、欣々然として、ハルピン總領事館を襲ひ、ロシア總領事以下八十有餘名を不法拘禁し、武力を用ひて東支鐵道を乘取つた。かくて、張學良は國民政府への土産首が出來たと同時に、張作霖時代からの舊型軍人閥を一掃し、自己の仔分を後釜に据ゑ樣と策動した。最近例の張宗昌は奉天に歸り、元の親分黑龍江省の張景惠が學良の目の上の瘤だから、學良の命を受けて之に代る策謀をなしつゝある樣に傳へられてゐる。武力回收後の東支鐵道の管理局長には學良の腹心が坐つてゐる。一方、國民政府は、東三省の外交權を奪つた後なので、ソビエツト・ロシアとの外交的驅引から一切張學良の勢力をボイコツトしてしまひ、南京の要人を滿州に派遣し、國民政府の直參的勢力の扶植に努力し、黑龍、吉林等の市黨部の勢力は擴大强化された。而して、東支鐵道の經營管理もやがて國民政府の任命せる者の手に移り、滿州をして完全に國民政府の勢力下に置くだらう。國民政府の軍隊を、滿州に移動せしめ、以てソビエツト・ロシアの武力防衛に對抗すると稱し、學良を威嚇してさへゐる。

だが、東支鐵道の武力回收は、國民政府だけの仕事だらうか。背後の帝國主義國家は關知しない所だらうか。否、大夫元は後にチヤンと控へてゐるのだ。

利權回收熱の高いのに反比例して共の實力なき支那ブルジヨアジーは、回收熱に何の損害をも知らぬ米國ブルジヨアジーを利用し、且つそれに利用されてゐる。支那が世界の帝國主義國家に殘された最後のそして最大の獲物である事は云ふまでもない。米國は對支經營に於る立遲れと、彪大な資本とを利用して、この獲物に近づいてゐる。よし東支鐵道の武力回收が成功するとも、經營に要する資本は米國によらしめよう。代償を支拂はねばならぬ時は進んで資金を提供しよう。米國ブルジヨアジーは勞せずして獲物を口に入れ樣としてゐる。日本ブルジヨアジーは、幣原外交の沈默を承認してゐるが、この沈默はたゞの沈默ではない。南滿州の特權にまで支那が襲ひかゝる時は、容赦しないぞと、刀のつかに手をかけた沈默である。そして、泡よくば、北滿の混亂に乘じて、その勢力を北滿にも廣大しよう。國民政府の米國的色彩を蛇蝎視する參謀本部の軍人外交家連は、國民政府の北滿進出を飽迄妨害しようと考へた沈默だ。いや、既に實行されつゝある沈默だ。ソビエツト・ロシアを攻擊する點になれば、米國ブルジヨアジーも、日本ブルヂヨアジーも、英國佛國のブルジヨアジー共も一致して親友ぶるが、利益の分前に至ると計算の細いこと、盜賊根性の生地がすぐ剝げる。東支鐵道に莫大な債權を有する佛國も、東支鐵道の回收は嬉しいが、諸帝國主義の我利々々亡者共は、この支

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

那を手先に使つたソビエツト•ロシア攻撃が意外な副産物を生産したのには面喰つた。東支鐵道の武力回收の無條件的承認は、各國の有する利權の暴力否定を是認することになる。かくては、帝國主義の財産を放棄する事に外ならぬ。故に米國國務卿のスチムソンは東支鐵道を回收前の狀態に還元する事を以て露支交捗開始の前提條件とした。併し國民政府は、東支鐵道を通じて滿州に於る中央勢力の確立を見ざる限り、其場のがれの口實と、不法不當なる侮辱をソビエツト•ロシアに與ることに依り、交捗を遲延させ遲延せしめてゐる。この事實の前には、ブルジョア新聞共も「强盗的國民政府」の標語を掲げざるを得なかつた。そして、この强盗的行爲に對して、ソビエツト•ユニオンの勞働者農民を中心に、各國の××的プロレタリアートは抗議のデモを敢行してゐる。日本プロレタリアートは東京支那公使館に、東支鐵道武力回收絶對反對のデモを行つて、祖國ロシアを守り、支那の××的プロレタリアートを激勵した。

我等が、この强盗的ブルジヨア支那政府への抗議は、一片の決議文によつてなされるのではない。

日本×××の强化擴大
合法政黨主義者の撲滅

の鬪爭を決死的に戰ひ拔くことのみが、强盗的國民政府への我等の力强い抗議となるのだ。——

東支鐵道回收に對する激

(前略)支那民衆の××なる抑壓者たる支那の支配者達は滿州にあるサヴエート領事館を占領し數百のサヴエート人民を逮捕した。ロシアのあらゆる經營を沒收し、一九二四年の協定に基いて露支に依つて共同管理されてゐた東支鐵道では、サヴエート職員を放逐し、鐵道勞働組合を閉鎖した。支那軍閥は露支國境に向けて軍隊を輸送し、白露軍すら煽動し派遣した。

サヴエート•ロシヤとのあらゆる協約に違反して東支鐵道を奪取した事は、支那軍閥が、勞働者農民の國家に對して、戰爭を强行せんとする明白な表現である。

帝制時代に支那より强奪した不平等條約有ゆる特權、租界を自ら進んで放棄したのは、サヴエートロシヤが世界でたゞ一つの國であつた。ロシヤは成立以來、支那の抑壓された民衆の自由と獨立の味方であつたのだ。ロシヤは支那を援助した唯一の國であつた。

そのために、全世界の帝國主義者はロシアに對して不倶戴天の敵として狙つてゐたのだ。支那の反動と軍閥のブロツク南京政府は此の帝國主義者の共力者である。

支那のあらゆる海港、利權を手中に握れる帝國主義者、支那人を奴隷の如くにこき使ふ帝國主義者にとつて「あらゆる搾取を打倒せよ」「支那の獨立と自由」「抑壓された民衆の自由と獨立」の旗を掲げるロシヤは、許さざる敵であるのだ。

支那の××を裏切つた國民黨は支那における帝國主義者の地位を强固にすべく狂奔してゐる。帝國主義者は彼等が、ソヴエート•ロシヤを攻撃すればするほど、自分等の利權と搾取の程度が强くなるのをよく知つてゐる。

もはや、明白である。支那に國民黨政府が續く限り支那の大衆の窮乏と飢餓は永遠に絶へない。むしろ益々ひどくなるばかりである。

南京政府は「吾々はあらゆる帝國主義國家の支那における支配を保證し、サヴエート•ロシヤに對する鬪爭を共にする事を保證する。」と明白々に表現した。

サヴエート•ロシヤは最大難局に處しても常に平和の爲めに戰つて來た。支那の軍閥がサヴエート北京領事館を占領し掠奪した時でも、廣東においてサヴエートの領事館員を殺害した時にすら、單なる抗議をもつて滿足した。

最近の軍縮會議に於て、完全たる軍備の徹廢を要求した唯一の國はサヴエート•ロシヤのみであつた。嘲笑と軍備擴張がこの要求に對する答へであつた。

サヴエート•ロシヤが南京政府の戰爭政策を止めさせるために、協定によつて總てを解決すべく要求したが、支那は挑戰の鋒をおさめず、戰鬪方針を止めなかつた。

サヴエート•ロシヤはあらゆる手段をつくして平和を保たんと試みる。それは、支那の同胞が支那軍閥のために戰爭にひつぱり出され、世界における唯一の勞働者農民の國に對抗する事を防止しようと考へるからだ。支那軍閥や、帝國主義者のために、勞働者農民の生命財産を蹂躙される事を防止しようと欲してゐるからだ。

しかし、危險はいよいよ增大する。帝國主義は支那軍閥を煽動する事いよいよ急なるものである。

支那の勞働者農民諸君、
太平洋沿岸の勞役大衆諸君、
支那反動主義者の狂行を阻止せよ。

帝國主義者、支那軍閥のこの鬪爭は、全世界の××的運動をうち倒さうとしてゐる。そして殖民地半殖民地の被壓迫民衆の鬪爭を打破ろうとしてゐるのだ。

サヴエート•ロシヤに敵對する軍隊軍需品の輸送を阻止せよ。

國民黨を打ち倒せ、帝國主義を打ち倒せ、全世界の被抑壓民衆の友サヴエート•ロシヤ萬歲。

一九二九年七月

××インターナショナル執行委員會

×　×

農業調査の正體

一、農業調査は何の爲に行はれるか？

政府は本年九月一日を期して全國一齊に耕地調査を行はんとし、農村では既に着々としてその準備を進められてゐる。この調査ば本年度は耕地だけに付いて行はれそれは例年行はれる農產物經營、家畜の調査と合はせて統一的な農業調査が出來上る。政府はこの調査の目的に付いて次の樣に云ふ。

「我國今日の情勢に照らし速に農業振興の根本策を確立することは最も緊要務なのであります。それがためには何よりも先ず正確完全な農業統計を基礎としなければならないのでありますが、現在の農業統計にはこの要求に添はない點が多いのでこゝに實地に大規模な農業調査を行ふ必要があるのであります。」

（**農業調査從業必携**）即ち調査の目的は農業振興の根本策の確立にあるのだと、農業の振興とは何か、農業問題の解決を意味するのか否、政府が農村問題の解決を云々したのは今初めてではない。彼等は既にこれについての多くの政策を述べたてゝ來た。小作法の改正、自作農の創定、米穀法の改正、肥料管理等がそれだ。

だがその一として農村問題を解決し農村の生活を樂にし得るものはなかつた。一切はその外觀や宣傳で農民をだまし結局地主や資本家の利益になるものばかりであつた。農民は既に之等の政策の僞瞞のカラクリを知り盡してゐる。支配階級は一方では是等の政策がギマン的なバケの皮があばかれ、他方財政の破綻、軍事豫算等から來る財政上の困難のために是等の政策をまじめに實行しやうとはしてゐない。たゞホンの一部分がすつかりギマンの種を見透かされて實行されてゐるに過ぎない。即ち彼等自ら農民の生活を樂にしてやらう等と云ふギマン的な事を云ふことが出來なくなつたのだ。それ故にこの鳴物入りで新しく計畫されてゐる農業調査がそれ等の意味を持つ筈はない。そして實際調査の內容を見れば（あとでこれを見ることにしやう）そうでない事が判る。ではこの農業調査は何のために行はれるか。それは政府が既に久しい前から計畫し最近特に力を入れてゐる國家總動員計畫の一部分として戰時に於いて農民から何をどれ丈、搾りとることが出來るかを調査することにあるのだ。以下少しその譯を述べやう。日本の資本家は從來その强大なる軍隊が滿州、臺灣、朝鮮、山東半島に武力的支配を行つて來たが國家の產業の發展の必要上更に沿海洲や北滿洲を狙ふために、亦植民地や支那に擡頭して來た勞働者農民の勢力を抑へるためにそして更に米國や英吉利と對抗するために益々戰爭の準備をせねばならなくなつてゐる。そして世界大戰の經驗が敎へたやうに來るべき戰爭には全產業を戰爭に動員し全產業を統一的な計畫の下に統一されなければならない。だから戰爭の準備には軍事豫算を增加し、武器を增し又學生に軍敎を强制し青年訓練を行ふ事が必要なばかりではない。いつでも全產業（軍事工業だけでなく農業）をも動員し得るやうに準備せねばならない。今度の政府の統一的な農業調査は實にこのためのものである。では戰爭の場合に於いて農業や農民生活はどう云ふ風になるか？ 日露戰爭當時にさへ農民は戰爭のためにどんな地位に置かれたかは次の如くである。

「數十萬の壯丁は鍬を擲つて銃をとり、多數の耕馬は田野

から徴發されて軍用に服し耕牛は兵食として屠殺せられた。斯如農業力の大缺乏を來す事を餘儀なくせられたのみならず又他面には貴重な窒素肥料として毎年八百萬圓の輸入ある滿洲大豆粕は杜絶せられ、露領アジャより輸入する一千五百萬の魚粕も同樣の運命に遭遇せり、加ふるに軍事輸送は國内に於ける肥料の配送を防げ、一般に租税の增徴、軍資の應募愛國一義指導は故多數の農民にて負擔し、農業資金の尠からざる減少を來たしたるは勿論なり、戰時税として村に增徴せられたる品目中——農民に對する增徴地租は四千二百八十萬圓に達し之を地租定率に據る額と合すれば——戰時税歳入の三分の一を負擔したる結果となる」（開國五十年史）之だけでもすでに結局資本家の帝國主義的利益を満したにすぎなかつた。日露戰爭が如何に多くの犠牲を農民の上に負はせたかを示すものだ、當時に於いては肥料の杜絶、資金の涸渇、勞働力や耕馬の徴發が農民を苦しい地位につき落した。きたるべき戰爭に於いてはこれ等のことが行はれるのみでなく更に窒素肥料工業の火藥工場への轉化が行はれ、農産物の一定部分は農會や産業組合を通して組織的に國家の手に徴發されるであらう。そしてこれは世界大戰爭當時ドイツやフランスの農民が經驗したやうに組織化せられたる飢餓そのものである。

二、農業調査は何を調べるか

今年行はれる耕地調査の要目は左の通り。

各農家の經營地について次の事項を調査する。

（1）耕地の地番（一筆毎に調査）（2）種類（田普通畑、桑畑、茶畑、果樹畑、その他の樹木澁木栽培の別）（3）面積（4）經營世帶主の住所氏名（5）自作地小作地

こゝに注意すべきは耕地經營者の氏名がのせられるが、小作地である場合所有者の氏名がはぶかれてゐる。更に又小作料耕地の買價其他土地問題に關する、又農村の階級關係を察知するに足る調査項目が全然はぶかれてゐる。（我々は尚此の調査發表について述べる際これをバクロする）政府はこの耕地調査は來年行ふと云ふ生産經營家畜調査を豫想しそれ等と一體になつて完全な農業調査が出來ると云ふが、然らば生産經營、家畜調査とは何か？

（1）各農家の昭和五年に生産したる米、麥、大豆、蕎麥、甘藷、馬鈴薯、大根、製茶及び繭についてそれぞれ次の事項をも調査す。

イ、米、麥、大豆、蕎麥、甘藷、馬鈴薯、大根及び菜種について（1、作付面積　2、無收穫面積　3、生産高）ロ、製茶（1、生産高）ハ、繭（1、掃立枚數　2、收繭高）

（2）農家の經營に對して左の事項を調査す。

イ、世帶主氏名　ロ、農業の種別　ハ、農産物の製造と加工　ニ、ロ及びハに揭ぐるものの中何れを主業とするや　ホ、世帶員農業從業者、農業勞働　ヘ、經營土地面積　ト、經營耕地利用面積　チ、農業用機械　リ、家畜家禽及び蚕蜂。

（3）肥料

（4）家畜に關して調査期昭和五年十一月一日

イ、牛牡牝年齢　ロ、緬羊牝年齢　ハ、山羊牡用途　ヘ、鷄牝雛。

こゝにも亦經營の項に於いて農民經營發展の最大の桎梏になつてゐる小作料や租税や土地價格に付いての項目ははぶかれてゐる、そして調査の中心は耕地の生産力に向けられてゐる。これはすでに述べたやうにこの農業調査が農民の生活を少しでも樂にしてやらうと云ふやうな意圖を少しも持たず、反對に戰爭のため日本だけの耕地の上に於いて農民を搾り得る能力がどれだけあるかを調査する目的を有するものであることを證明してゐる。この調査の全體の整理方は未だ發表されてゐないが耕地調査は町村長の手に依つて種類及び自作地小作地別耕作地面積表として整理される、こゝに經營耕地面積別の農家の分類は少くとも村別には整理されない。卽ち農民の階級的分化は完全になくされてゐるこの調査を完全に××し正確な調査をなさしめぬやうにすることは帝國主義戰爭反對のスローガンを生かすことになるのだ！　戰爭のための農業調査反對！　帝國主義戰爭反對！（全國農民組合關東地方協議會）

緊縮政策、産業合理化に對して組合協議會の鬪爭方針

一、濱口内閣の緊縮政策に依る産業合理化の進行は今や全産業に汎つて、臨時休業、工場閉鎖、解雇、賃銀單價値下、休憩時間剝奪、昇給引下げ、賞與減額等となつて勞働階級に對する暴虐を恣しいまゝにしてゐる。緊縮政策とは云ふ迄もなく、國家權力による産業合理化の促進政策であり、眼前に迫つて來てゐる恐慌を完全に勞働階級の犧牲によつて切拔け、中小工場を併合し金融資本の强化をはかる政策であり、戰爭遂行の基礎工事である。政府は鳴物入りで緊縮節約を宣傳し、失業者の增加を見越して欺瞞的な失業救濟をほのめかしてゐる。吾々はかゝる欺瞞より大衆を救ひ、現實の利害の上にたつて大衆を鬪爭に導くと同時に、鬪爭を通じて左翼勞働組合の組織强化擴大をかち取らねばならぬ。今やそのための絶好の契機が到來しつゝあるのだ。

二、全國協議會常任委員會は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

右の闘爭いための中心スローガンとして次の六つを掲げる。

臨時休業に日給全額支給せよ！
工場閉鎖解雇賃銀値下絶對反對！
賃銀三割値上げせよ！
勞働時間を七時間にせよ！
失業者の生活を國庫で負擔せよ！
ストライキと示威運動の自由を寄越せ！

右のスローガンは云ふまでもなく現在勞働大衆のもつてゐる中心的要求を表現したものである。然し乍ら現在直ちに全地方全産業に於いて右の六つのスローガンの下に統一的に蹶起させることは不可能である。從つて産業により地方により地區により工場によつてスローガンは適當に改變されなければならない、而も闘爭の波の隆起して來るに從つて右の六つに集中される方向に向つて。

三、各産業別委員會地方協議會各組合はそれ〲その産業、地方、地區に應じてあらゆる闘爭を地方的、全國的、産業別ゼネストに迄發展させると云ふ見透しの下に、當面實行し得る範圍の闘爭プランを具體的に作成し、スローガンを決定すると共に目標工場の情勢とそれに對する當面の方策及び、右翼中間派組合内部の細い狀勢の調査を文書を以つて至急本部に送れ！ 同時に闘爭の過程に於いて變化する情勢とその對策を一々本部にレポせよ！ 本部は即刻それに對する指令を發する。

四、緊縮政策によつて促進されてゐる合理化の諸結果に對することの闘爭は日と共に益々激化する傾向にあり、當然吾々はこれを産業別的全國的ゼネストに發展させなければならない。然しむやみにゼネストをやれ〲と叫びまわつても大衆は起たないことは分り切つてゐる。ゼネストを意識的計畫的に遂行するのは、黨及び戰闘的勞働組合であつて、大衆はゼネストをやるつもりでストライキをやるのではない。甲工場は解雇反對を叫んでストライキをやり、乙工場は賃金値上げを要求してケツキする、丙工場は工場閉鎖反對を叫んで起ち、失業者群は仕事とパンを要求して市役所その他へ押しかける。その個々のあらゆる闘爭を統一的に指導するのが吾々の任務なのだ。從つて、表面上は個々の要求の下に夫々勝手に闘爭してゐるやうにみえても根本に於て、産業別委員會及び各組合の意識的プランの具體化であると云ふ風にならなければ、ゼネストは問題ではない。だから、各産業別委員會及び各組合の立てるプランは各地方別工場別によつて極めて微細に具體的に作製され、スローガンもかゝる意識の下に選ばれなければならない。特に目標大工場に對しては、特別對策委員會産業別委員會若しくは組合常任委員會の指導の下に造られねばならぬ。

五、各産業別委員會は此の闘爭に於いて今尚僅かしか遂せられてゐないところの全國的産業別的連絡を確立し、確固たる全國的指導の任務に堪え得る充分なる實力をかち取らねばならぬ。各地方協議會及び組合は此闘爭を契機に機關を確立し全國的連絡――總本部及産業別委員會との連絡――をより密接にし、全國協議會の强化擴大を持ち來すやう努力せよ！

六、全國的、産業別的ゼネストの時期に關しては今からそれを明示することは不可能だ、そんな事の出來るのは机上の闘士のみである。あらゆるプラン及情勢の變化に關するニユースレポが刻々に本部に報道されそれに對して即刻本部から具體的指令が送られ、これが實行されて産業別、全國的に闘爭の波が高まつて來た時適當な時期を見て總本部はゼネストの指令を發するであらう。現在はそこまで行く準備的基礎的活動が直ちに開始されねばならぬ。

七、當面の闘爭プラン及び基礎的調査は遲くとも八月二十五日までに本部に到着するやう送れ。

一九二九・八・五　日本勞働組合全國協議會常任委員會

戰爭準備の「教化總動員」

歴代ブルジョア政府は常に「思想善導」を看板にして、無産階級解放の理論マルクス主義に挑戰したが、民政黨内閣もまたその例に洩れるものでない。

濱口内閣も「××主義」は大嫌ひである。何故なら、彼等は日本資本主義の最も忠實な代理人であるからだ。どんな事をしても、此の勞働者農民の闘爭を叩き伏せなければブルジョアジイの御機嫌を取る事が出來ない。

共處で考へついたのが「教化總動員」計畫だ。政府は去る七月三十日からこの計畫の遂行のため準備をつゞけ、九月下旬より數十萬冊の豫算をもつて、浪花節やラヂオ、雜誌、ポスター、リーフレットをもつて具體化するとの鳴物入りの宣傳である。

青年團、少年團、在郷軍人會、宗教團體を主體として行ふといふのだ。そして「軍國主義」「緊縮政策」—即ち勤儉力行、實は産業合理化の促進による資本家救濟策だ—をふきこまうとしてゐるのだ。働きたくも仕事のない勞働者や、賃銀が安くて飯が食へない自由勞働者、不作と、高い小作料で麥飯さへ食へない農民に、緊縮せよとはふざけた話だ。そんな事は金持ちに云ふ事だ。「教化總動員」は畢竟するところ默つておとなしく働け、不平も云はず資本家の命令に從へといふ事を無産階級の頭の中にたゝき込む事である。そうしておいて、やがて迎るところの世界戰爭、帝國主義者の市場獲得の戰爭に「××」の美名の下にひつぱり出そうといふ腹黑い根魂があるのだ。

勞働者農民の勇敢な同志を××の中にたゝき入れた反動政府のやる事にどうせロクな事なんかあるものか。

「教化總動員」計畫は戰爭の準備であり、勞働者、農民解放への戰ひに對するファシズム的挑戰である。全國の同志諸君、政府の××をバクロせよ。

資本家地主の一切の政策反對
勞働者、農民の××を作れ。

資料

朝鮮社會運動小史（五）

裴成龍
K・K・M譯

上記の青年、勞働の兩總同盟が創立したる以後各地農村の小作爭議と、都市の勞働爭議が頻出して經濟運動が熾烈化すると同時にその運動を中心として漸次地方に、または大衆の手に之が轉化する傾向を示して、一時騷亂を極めた彼の岩泰小作爭議に依る主動者三十名の拘禁、またその拘禁放免運動に依る四百餘名の農民大示威運動及び六百農民の木浦府廳前に於ける餓死同盟等の事實と朝鮮印刷職工三十名の罷業、仁川印刷職工の罷業等は其中に於ても激烈なる勞資鬪爭の一例である。又彼の七月に於ける京城印刷職工組合の二千餘名の會員と、京城鐵工組合の三千餘名の組合組織は、勞働界の組織的勢力形成の大なる一例であつた。また一方に於ける夏期休暇を數日の前にした各中等學生の同盟休學事件が各處に於て峰起し、松都高普盟休、徽文高普盟休、京城第一高普盟休等が代表的その例であつた。

九月に這入つて、朝鮮學生總聯合會發起會が京城に於て組織され、之は專ら學生の團結と、訓練を目的とする會合である。

大田に於て開催された衡平運動統一大會は分裂してゐた晋州の衡平社聯盟本部と、京城の衡平社總聯盟本部の兩派が安協統一を目指して會合し、その結果該兩團體は圓滿に合同を誓約しその統一機關本部を京城に置いた。之より運動の勢力は益々擴大するやうになつた。

且つ、京城に於ては朝鮮勞働黨が全一、李忠模、李正詠、李極光等諸君の發起に依つて創立された。而して、當時朝鮮に於ける最初の共産主義宣傳事件であるといふ非結社秘密事件が發覺され、鄭在達、李裁馥、申伯雨、李鳳洙、元友觀、李聖等の檢擧され、續いて搜索、檢擧、投獄の嵐が峰起し、事實報導にさへ不自由である朝鮮社會であること故該事件に對する世人の注目と、流言は實に大なるものであつた。

×

既述せる京城の研究團體『新思想研究會』が社會運動團體の『火曜會』に變革されたのはこの二四年十一月であつた。同會の綱領は別に之を成文上に觀ることが出來ないが之は前研究會解體後再組織された火曜會がその創立總會に於て不徹底なる綱領を發表するよりかむしろ自會の可能なる範圍で活動に努力するを以て綱領に代へるといふ決議に依るものである。之に依つて同會の思想的內容はその活動を通じてほゞ測定し證明することが出來たし、同時の會員は六十餘人で各地方的並びに對外的關係は相當に確固たるものであつた。

之に次いで同月中に京城に於て『北風會』が組織された。之は日本東京にある『北星會』員がその大多數を占める會であつた。かつて『北星會』は朝鮮聯絡機關として京城に『建設社』たるものを置いたものであつたが今度『北風會』として具體的に組織を樹てたものである。

その後數個月をして東京に於ける『北星會』は解散されたがその理由は『北星會』は『北風會』の重要性を重んじたゝめ二重性を廢し一路『北風會』の旗の下に參集したものである。いまその主唱せる綱領を左に示せば仍ち

一、社會運動が本質的に無産大衆自體の運動である以上吾等は飽まで現實に立脚せる大衆の實際的要求に應じて驀進せんことを期す。

二、吾等は大衆運動の部分である處の勞農、靑年、女子衡平運動の知的教養と、階級的訓練とを併せて凡ゆる現狀××運動を支持する同時に經濟問題に重きを置き科學思想を普及し都市と農村の協同を期する。

三、吾等は未だ限界の不分明なる狀態にある運動を整頓してその類別を確定し組織を綿密にして以て從來の消極的否認の態度を取らず一層秩序的に正進せんことを期す。

四、吾等は階級關係を無視する單純な民族運動を否認する。然れども朝鮮現下に於ては民族運動もやはり避け難い現實より發生せる以上吾等は兩大運動即ち社會運動と民族運動の併行に對する時間的協同を期する。

以上四ケ條よりなるものである。

（中略）綱領第一條の現在に立脚せる大衆の實際的要求はそれが必然的な命題ではありながら從來の朝鮮運動者が之に感付かないのに之を提唱したことに、彼等が從來の運動理論家と比べて遙かに實際的政策的意志と立場を確保してゐる點と、第三條の從來の消極的否定の態度を離さないといふ處は彼等が左傾中毒の迷妄より脫がれやうとする意志の發露があることを發見することが出來る。第四條の時間的協同の必要を要するといふ點は、現下朝鮮の凡る社會的、政治的、經濟的の情勢より見てその共同努力の不可避なる條件であることを表明したるもので、同會が創立以來全朝鮮的に同會との氣脈を通じて統一的とは云はれなく共、それは新しい勢力の糾合的形式で熱烈なる活動を展開することが出來たのである。

×

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

以上兩團體の構成人物は悉く知的教養と、集團行動上の訓練を蓄積せる運動者群であつた。けれども彼等は同一主義主張を有するソウル青年會及びその關係者とは在來より感情上の分裂と、行動上の衝突まであつた次第であり、且つ他方に青年、勞農の兩總同盟が完成された後やがて再び内部には分裂の空氣が張り遂ひに青年總同盟がソウル青年會の派的勢力圏内に入り、勞農總同盟が北星會及新思想研究會の派的勢力圏内に入つた時であつたゝめ『北風會』と『火曜會』の出現は更に對立分裂の感情を激盛せしめ、無産『赤雹團』員の北風會館襲撃等宗派的不安狀態を呈して一九二四年は暮れたのである。

×

一九二四年に於ては、青年勞農の兩總同盟が出來たのを筆頭に、各地方的聯合機關が多數出現したばかりでなく、京郷に社會主義團體が新らしく出現し從つて小作問題、勞働問題、盟休、罷業、爭議等をいては他に社會上の出來事はなかつた。けれどもその運動線上の内部は分裂を重ねたり、合同と協同の傾向が反復し、統一傾向よりも分裂の傾向の方が優勢であり、その下半期に於ける戰線の混亂は實に寒心すべき傾向のものであつた。

×

かくして一九二五年の新春を迎へたのであるがその劈頭より申合せたやうに中央、地方を云はず運動線上の統一を計るため各社會運動者の會合が頻出した。即ち、一都市、一郡府を範圍とせる會合また一道を中心とせる會合が懇親會或は大會の名目で續いて開催され新年の新らしき陣容を整へて企圖計劃された。

また他の反面に於ては從來職業的惑世家である普天教徒と官民一致を唱へ、同化主義を叫ぶ各派有志聯盟とが配合せる時局大同團のチョンマゲ講演隊が出現し、彼等が到る處で鐵拳膺懲、撲滅唾罵、冷嘲等各地民衆の怒號が絶へなかつたのは一種の稀怪なる滑稽劇であつた。

南鮮群山に於ける民衆運動社事件が發覺され社會運動者の大檢擧があり、西鮮載寧に於ては北栗小作爭議で東拓對農民の白熱的抗爭が始り日本人の放銃事件は大騷動を惹起せずにをかなかつた。

初春より朝鮮青年同盟は各地方團體の地方的大會の開催の必要を感じ、各細胞團體にその召集方を勸誘した。これにより二月中に忠淸南道青年會が天安に開かれ、慶北地方青年大會發起會が尙州に於て開かれ其他各地に於ても地方的大會の發起またはその準備が行はれた。

×

この時に京城に於ては京城電車從業員が賃銀待遇問題に依り大罷業を起し、一時は京城三十萬市民の交通上の莫大なる困難を感ぜしめたのであつた。(半略)最初の怠業時に當り會社側の懷柔策と、警察の抑壓があつたにも係らず罷業を一齊に斷行し市内の時間生活者の遲刻數が平日の四十倍以上に達するに到り、就業電車に投石して車窓を破壞したる事實等その形勢は極めて危險なるものであつた。この事件で檢束されたものは四十名に達した。強大なる金力と官權の脅威が會社側にあるばかりでなく罷業團側は未だ未組織勞働者であるためこの爭議は爭議團側の讓歩で乘務するに到つたがこの失敗の原因に對し切實に感ずる處があり彼等は以後乘務員俱樂部を組織して後日に備へることになつた。

之に次いで京城大東印刷會社職工罷業、仁川辻川精米所女職工罷業、平壤の洋襪職工罷業及び印刷職工二十餘個所工場の同盟罷業と務安の智島小作爭議に依る四百餘農民の大示威運動等殆んど跡斷へず勞資爭議が突發した。(未完)

ソウル青年會の解體

朝鮮における社會主義的青年運動の先驅として創立以來大なる功績をなした「ソウル青年會」は去る八月二十九日第三十二回執行委員會を開き、突然同會の解體を決議した。

「ソウル青年會」は掲載された「朝鮮社會運動小史」の中に記述された如く大正八年の「三一運動」の翌年即ち一九二〇年一月金翰、李得年、洪增植、金思國、李英等の諸氏が發起となつて約七百名の會員を擁して創立されたものである。

決議文

回顧すれば吾がソウル青年會が一九二〇年に雄々しく創立されて以來、朝鮮社會運動にその歷史的任務を全ふすると同時に、朝鮮無産階級運動より離て も組織されたる青年前衛部隊としての重要なる役割を盡して來たことは否定する事が出來ない。然るに現今朝鮮に於ける凡ゆる客觀的情勢は分散的であり宗教的である在來の青年團體をして更に統一的に大衆的に、中央集權的單一組織體を要求して止まない。之は現段階に於ける適應する組織體であると同時に團體發展過程の必然的要求である。換言すれば在來の青年團體はその附與されたる凡ての役割を演じ盡したと云へるのである。之を認容する吾々は單一組織體を出現するための不斷なる努力を拂つたけれども凡ゆる客觀的狀勢が之を容易に容認しなかつた。けれどもそうした結果は吾々をして更に意義あり新たなる戰術を敎へた。それ故に吾々は京城青年大衆の凡ゆる利益の擁護と獲得のため新鬪爭力を能動的に實踐すべく現實に適合する歷史的任務を備へる中央青年同盟の旗幟の下に集合するを前提として玆に解體を宣言する。解體方式は京城無産青年會より提議された共同解體に贊同するものである。

×　×　×　×　×

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

資料

解黨主義者の策動を粉碎せよ…………全國勞農青年同盟
新勞農黨樹立にあたつて我等の態度を聲明す…………全農關東地方協議會
新勞農黨樹立に對し聲明す…………日本勞働組合協議會

解黨主義者の策動を粉碎せよ

親愛なる全同盟員諸君！並に全國の同志青年勞働者農民諸君

最近、政獲同盟内の一部の同志によつて合法左翼政黨の樹立が提案されてゐる。その代表であると稱する大山、細迫、上村等の意見書によれば、彼等の要旨は次の如くである。

「最近における主體的及び客觀的の兩方面の異常に急速なる轉換に照應して、合法政黨の形態に於ける我々の獨自の恒常的政治組織——「新勞農黨」——を樹立し、その下に大衆的日常闘爭を政治的自由獲得闘爭に集中統一して、强力に展開し、更にその旗じるしの下に戰線統一を決定的に實現することを期して、當面その目標に向つて全力的に戰ひ進む」とある。

全國の同志諸君！我々はかゝる意見を聞くのはこれが最初ではない。我々は過去に於て、何度となくかゝる理論(？)をきかされて來た。實にかゝる解黨主義理論は我が國における解放運動のガンであつた。だが我々は昨年既にかゝる致命的な誤謬を勇敢に清算し、我々の闘爭は飛躍的に一歩前進した筈である。而も、今またかゝる解黨主義的な提案を聞くのは一體どうしたことだ。

全國の同志諸君！

我々プロレタリアの利害を代表し、眞に我々プロレタリアの解放のために戰ふ政黨、即ち、プロレタリアの政黨は、たゞ×××一つあるのみだといふことを。そして×××以外の所謂「無産政黨」を作る解黨主義は勞働者農民の最も憎むべき敵であるといふことは、既に我々の間では討論ずみになつた問題であるだからこそこの最近登場した解黨派大山、細迫一派も、右の點は「原則的に正しい」と認め「だが、眞理は常に具體的である」と運動を裂つてゐる。そして曰く「現實は合法左翼政黨を必要としてゐる」と彼等の言ふ現實の主體並に客觀狀勢とは？即ち全解放戰線の一部分に浮遊する小市民的傾向の反映にすぎない

全國の同志諸君！

我が左翼組合の再建の闘爭も政獲同盟の發展により解體の闘爭も、彼等の言ふが如く合法左翼政黨の擁護の下に進展するのでは斷じてなく、それは一に×××强化擴大と相伴つて遂行されるのである。××××の强化擴大！それこそ、今日我が全プロレタリアートに課せられた最重要にして且つ最緊急の任務であるかゝる狀勢中にありながら、彼等解黨主義者どもは或は×××を濫設せりと逆宣傳し、或は赤色勞働組合を無力なりと詐稱し、×××及び××勞働組合に對する、全勞働者農民の信頼の破壊を企圖せんとしてゐるこれが支配階級への屈服でなくて何だ。これが社會民主々義への沒落でなくて何だ。

全國の同志諸君！

我々は「新勞農黨樹立の提案」に依つて彼等一握りの、インテリ共の白色××に恐れ慄く醜惡な姿を見た。日和見主義、合法主義へ轉落してゆく哀れな姿を見た！この裏切者を葬れ！

親愛なる全同盟員諸君！並に全國の同志青年勞働者農民諸君各自の職場で總會を開かふ。そして彼奴等解黨主義者共の裏切をバクロし、×××××の支持を決議しやう。

右から左までの社會民主々義を葬れ！解黨主義者の策動を紛碎せよ！

勞働者農民の××萬歳！

×××××の大衆化萬歳！

一九二九年八月十三日

全國勞農青年同盟本部

新「勞農黨」樹立にあたつて我等の態度を聲明す

勞働農民黨及新黨準備會の輩

かしき××的闘爭の先頭にたちて戰つてきた「われらの委員長」大山郁夫及び細迫兼光、小岩井淨等は指導的結集隊のプロレタリア唯一の黨——××××の公然の存在を否定し、官許「勞農黨」樹立の提案をなして地主資本家の奴僕への道の第一歩を去る八日踏み出した。

わが全國農民組合關東地方協議會は、この提案に對して、正しき態度を勞働者農民の大衆に聲明することの必要を痛感する

かれらの屈辱的裏切り的計劃にわれらは斷じて動搖し誘惑されないであらう。なぜならば

第一、大山郁夫等は、地主資本家、スパイ、社會民主々義者と同樣に運動の行詰り、×××××の敗北、解黨、否定を前提としてゐる。

「土地を農民へ！」「勞働者農民の××樹立萬歳！」のため、××的闘爭の先頭に立ち、指導をなして來た××××が、果して存在しないであらうか？かれらは恥知らずにも言ふ言葉——「×××の指導を離れて」仕事をやると。だが彼等は、黨を否定しても、否定し得られないではないか！

第二、濱口内閣の合法的運動に彈壓を加へないと言ふ聲明を歡迎し迎へてゐる。だが、いま埼玉の農民は、××の常備駐在××包圍のうちに××否と戰つ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

てゐる、如何に僅少なる要求と雖も、それが勞働者農民の正しき要求であるならば彼等は斷じて容赦なく○○を加へるのだ。果して、われわれ農民、勞働者の正しき利益獲得の鬪爭に、合法的鬪爭があり得るか默落せる合法主義者よ、この前に恥を知れ！

かれらを、われらを裏切り、地主資本家政府濱口内閣と握手するに至つたのだ。

第三、選擧日常に立ち、われら農民の眞の要求を蹂躙するために新黨樹立を企ててゐるのだ濱口内閣の弱點は解散總選擧を控へてゐるにある。この弱點を衝くことが大切だと彼等は主張する、だがこんなことを言つて地主資本家の議會に農民を縛り付け、永遠に我等の解放を引のばさんとしてゐるのだ。

第四、大衆的日常鬪爭主義、プロレタリア×に對立する農民黨の樹立を企てゝゐるのだ。

日常鬪爭は、×××の××的指導によつてのみ、地主資本家の政府を倒し勞働者農民の××を樹立することが可能である、かれらは日常鬪爭のみを、しかも×××に樹立する農民黨によつて遂行しやうとする、そこにはたゞ敗北あるのみだ。われらは土地所有の××、勞働者農民の××樹立――に勝利を得なければならないのだ。

以上のやうな諸點は、かれらが如實に地主資本家の奴僕であることを示すものだ。われらはかゝる誘惑に斷乎として戰ひ、いさゝかの動搖もなく、更に勇躍して進むであらう。既に勞働者は、怒と恨をもつて除名し、斷乎として排擊し、戰ふことを聲明した。

わが全國農民組合關東地方協議會は、農民の要求を裏切り、わが組合の攪亂を企て、×××の同志を孤立化せしめんとしてゐる彼等と戰ふとともに、わが組合をして、小作料、土地問題のみの鬪爭から、あらゆる日常政治的要求にいたるまで戰ひ、且つ農民勞働者組織のため勞働者階級との協力提手のもとに農業勞働者組織宣傳委員會を組織し、農民組合をしてより左翼的に强化し、鬪爭の旗を進めることが、あらゆる日和見的誘惑、動搖を克服する最大の保證であると信ずる。我等は即刻この任務につかねばならぬ。

大山等は裏切者水谷長三郎「勞農」一派とともに、今や地主資本家共の奴僕となりさがり、農民を裏切り、永遠に地本家の奴隷たらしめんと企てゝゐるのだだがわれらは、彼等の裏切りにもかゝはらず勝利はわれらのものであると信じてゐる。

われらは我が全國農民組合の輝やける戰鬪的傳統をまもるため、組合を地主に賣渡さんとする。小岩井等々の奴僕を徹底的に排擊し、粉砕せねばならぬ。われらは×××××の旗の下に最後の日まで、戰ひ行くであらうことを、確信をもつて玆に聲明するものである。

一九二九年八月十二日

全國農民組合關東地方協議會

「新勞農黨樹立」に對し聲明す

曾ての「吾等の委員長」大山郁夫氏を先頭にして上村、細迫、小岩井等の諸君は今回愈々××の指導を離れて合法政黨結成の決意をなし去る八日「新勞農黨樹立の提案」なるものを發表した。

大山氏は先づ「現在の吾々の運動は行詰つてゐる」と言ふ何を根據として大山氏はこんなことを言ふのであるか？××の切迫、產業の合理化緊縮政策等々から吾々勞働者の生活は益々惡化し、失業者は日を逐ふて增加して行く。不平不滿と反抗に燃えた勞働者のあらゆるストライキ示威運動は資本家地主政府の强烈な彈壓をうけてゐる。

而も彈壓は勞働者を鬪爭へ〳〵と導くばかりだ、この否定できない事實を前にして、吾等の運動は行詰つたと悲觀することとは鬪爭の放棄に非ずして何であるか？

第二に大山氏は潜行運動は不便で駄目だと云ふだが吾等の行ふ鬪爭に不便でない鬪爭困難でない容易なる鬪爭があるか？

勞農黨、新黨準備會、勞農同盟の過去三ケ年餘に亘る、輝かしい鬪爭の歷史から合法主義の便利さを敎へられ、それを信奉する程大山氏は老いぼれたのであるか？今日總同盟の組合でさへが、移動本部を持ち、アジトを持つて困難な鬪爭を敢行してゐる事實に對しては大山氏は果して恥を感じないであらうか？

第三に大山氏は濱口内閣と田中内閣と質が違つてゐるといふ思想を述べ合法運動に對して干涉しないといふ濱口内閣の聲明に對して欣喜してゐる。

よしんば其の眞意が來るべき總選擧を目指す濱口内閣の氣嫌取政策（大衆欺瞞策）の利用にあるとしてもそれは帝國主義××の危機の認識しない、從て現在に於ける資本家地主政府の極力反動性を正當に評價しないことを證明するに過ぎぬ。濱口内閣と田中内閣との質的相異をホンの僅かでも認めんとする者は資本家の從僕である！「吾等の委員長」は果してかゝる從僕に轉落したるものであるか？

最後に吾協議會は既に一ケ月餘以前より合法政黨結成の策動あるを知り間接にではあるがあらゆる可能なる手段を講じて大山、細迫氏等に連絡をつけその眞意を確めんとしたるにも係らず意識的に吾等との交渉を避け曖昧な言葉の端切れのみを吐いてゐたに對して吾等は飽くまで抗議する權利を持つことを聲明する、かゝることは實に協議會を侮辱するものであり吾協議會の代表する勞農大衆を蹂躙したものだと言はざるを得ない。然し乍ら吾々はすでに今日あるを豫戒し、去る七月三十日附で合法政黨不必要の聲明書を協議會は出してゐる。協議會所屬の全大衆は遠からず氏等の「提案」を手にし大衆的に討論するであらうがその結果は明らかだ。吾等勞働者は云ふまでもなく强力な政黨を欲する。だが强力な政黨は支配階級に對する激烈な鬪爭なくしては確立され得ない。

「行詰つた」とか「不便」とか泣言を並べ濱口内閣の狡猾な政策の前に頭を下げ合法主義に屈服し事實に於て勞農黨新黨準備會の解散を當然と認めることにより政治的自由獲得のために戰ふ政黨がかち得られると思ふのは裏切者であり、社會民主々義者である。勞働者農民は斷じて大山氏を支持しないであらう。

一九二九、八、九

日本勞働組合全國協議會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞農の××的同盟

ウエー・コラロフ
伊藤鋭太郎譯

諸君は以下掲げらるゝウエー、コラロウの論述によつて力說されるところのプロレタリアの勝利のために農民階級を自己の陣營に移行せしめる事の絕對に必要である事を諒解されるであらう。勞農の××的同盟の結成は、プロレタリアの勝利のための不可避的條件であり、マルクス主義はその遂行のために、農民階級に對して如何なる方策をとるべきであらうか。鬪爭期におけるこの決定的な問題について明快なる解決が與へられてゐる。全國農民組合の掲げる「土地を農民へ」の政策の正しさが、この論述の中に示されてゐる。プロレタリアの勝利こそ農民階級の解放を約束する。

（一）農民團のための鬪爭

『今日の歴史的時代は、充分の正しさをもつて次のやうに定義することが出來る、此の時代は、プロレタリアートとブルジョアジイとの××し難き鬪爭――たゞにプロレタリアートの遲れた層のためにのみならず、農民團の廣汎なる層のためにも亦――の時代である、と。』

此の、一九二五年にコムニスト・インタアナショナル擴大執行委員會が採用した農民問題に關するテーゼ中の部分は、世界尺度においても、又、個々の各資本主義諸國家に取つても、現下の歴史的時代における重要な階級勢力の戰略的分配を特徴づけてゐる。勤勞する農民大衆は、今や××の大部分を形成し、且つ、生活手段と工業が必要とする數多の材料との生産者であり、權力を中心として行はれるプロレタリアートとブルジョアジイとの歴史的××にあつては、大多數の資本主義諸國家において決定的な役割を果す所のものである。

プロレタリアートが勝利するか、若しくは敗北するか、と云ふことの最後の審判は、正しく、農民團が、相鬪爭し合つてゐる重要な兩勢力の何れの側に移行するか、並に、農民團がプロレタリアートの鬪爭に積極的に參加するか、又は、中立的な態度を採るかに依存してゐるのである。全人口の七パーセントしか農民がゐない英國のやうな徹底的な工業國においてゞも、農民問題は、第一に、植民地問題として、重要な意義を持つてゐる。英國のプロレタリアートは、それ故に、若しも、英國の小農民をその味方に引き入れることを理解してゐなければ、並に、英帝國主義の軛から解放されるべき英領植民地の農民にその力を貸し與へることを理解してゐなければ、斷じて自分の階級×を完全に徹底的に克服することを得ないであらう。農民團がプロレタリアートに取つて持つ大きな意義は、勝利したロシヤ革命の經驗によつても、又、ハンガリイ、ポーランド、イタリイ等の諸××の敗北によつても確證される所である。此の問題は、ボルシエビキの三月會議に對してレーニンが書いた決議の中に、ハツキリした明白さをもつて示されてゐる。『都市プロレタリアートが、地方プロレタリアートを自らに吸收し、且つ、地方半プロレタリアートの大衆を自らに編入することに成功するか、若しくはその反對に、之等大衆が、グーチユコフ、ミルユーコフ、資本家、地主、及び反××一般との同盟に傾いてゐる所の農民ブルジョアジイに赴くか、――之によつて、ロシヤ革命の運命と出發とは決定されるのである……。』

ウラヂミル・イリツチ・レーニン、全集第廿卷、第二分冊二八六頁、『文學と政治』版ウイーン――ベルリン

廣く知られてゐるやうに、ボルシエビキ黨は、十月に到つて村落の勤勞大衆に對する壓倒的な影響を戰ひ取り、それをもつて××の勝利を確保した。之に反し、××的プロレタリアートの指導者としてのポーランド及びイタリイの社會主義者、ハンガリイの××主義者は、農民に對するその誤まれる戰術によつて、廣汎なる農民大衆から孤立した。此のことが、之等諸國家におけるプロレタリア××の敗北をも決定したのであつた。『農民問題に關するテーゼ』は、農民團獲得の問題の重要性を充分に把握してゐない××中の同志に向つて、充分の正しさをもつてこう忠告してゐる、此のやうな人達は、『ブルジョアジイをして農民團の廣汎な層を獲得せしめた時にはプロレタリアートの運動は沈落に脅かされると云ふ益にならぬ危險を少しも注意しないものである。』と。

今や、ブルジョアジイは、

資本主義的諸國家において、彼等が帝國主義戰爭前に持つてゐた村落に對する影響を再び確保せんがため、一切の力を集中してゐる。彼等は、都市の××的理念に反對する强敵を農村の中に見出し、且つ、工業プロレタリアートの××的努力に反對する確實なバリケートをそこに見出すのである。農民の魂の獲得のための鬪爭は、ブルジョアジイが弱まり行く階級支配維持の配慮の重要點の一つである。彼等は、此の目的の達成のためには、一定の犧牲を拂ふことにさへ決して躊躇しない。

十月革命の直前、ブルジョアジイは農民大衆を××の途からそれしめるため、一連の讓步を必要とした。最初の讓步は、農業問題に現はれた。ブルジョアジイは、土地問題が尖銳化してゐる到る處において、『農業改良』の毒ガスを發射した。都市ブルジョアジイは、上昇し行く村落の政治的意識を看て、國家權力の獨占を放棄すべく餘儀なくされた。そこで、彼等は、彼等の指導的役割の維持と主張の下に、國家の管理へ若干の農民層を參與せしめるに到つた。然し乍ら、ブルジョアジイはその階級支配の充分な確保のためには、自らと農民との同盟のための經濟的基礎を新たに作り出さなければならなかつた。かくて、一切のブルジョア黨とその政府とは、農業の問題を日程に上した。此のことは、種々なる農業―文化的方策の實施を齎らした。即ち、農業クレヂットの組織の發展農業共同組合の促進、保護貿易的稅率の設立その他多くの方策が實施されたのである。

ブルジョアジイは、かやうな彼等に取つての重要な任務の遂行上、有力な援助者を國際社會民主々義の中にもつてゐた。ブルジョアジイと同樣に、此の萬國の社會民主々義的諸黨も亦、農民に對し、諸君の利益はこうして次第〳〵に增大するのだ、と吹聽し、そして、農民に對する彼等の影響を阻害するすべての××的なものを途からたゝき出さうと努力した。彼等は、此の目的のために、古い農業綱領を無役なものとし、不充分なものとして排斥し、そして到る處で之を修正してゐる。だが、右翼と『左翼』との社會民主々義諸黨がその戰前の狀態を少しも變更してゐないこと及び、彼等が反××の陣營へ完全に落ち込んでしまつたこと、此のことは、農民問題の理論と實踐との中に明白に示されてゐる。彼等が村落に對して採つてゐる態度の全意味は、農民大衆の急進化過程をストップせしめること、即ち、勞農の××的同盟の土臺をブチ壞し、現在社會秩序の經濟的、政治的基礎の下において、ブルジョアジイと自らとの協調の土臺を擴張せんとすることの中に在るのだ。

村落に對するブルジョアジイのかゝる態度とその社會民主々義者による援助とは、疑ひもなく、農民團の下における××主義者の仕事を極度に困難ならしめるに役立つものであり、且つ、現に、日々、此の意味において作用しつゝある。此のことを否認することは、ナイーヴなことであり危險なことである。×××の義務は、此の階級×によつて準備された困難を過少評價することなく、注意的な眼をもつて之を敵視し、且つ、之を戰ひ取り、それを支配することを學ぶことだ。村落に對する一切のブルジョア的、小ブルジョア的、反××的影響に對する××主義者の絕へざる執拗な、そして、組織的な鬪爭の成果の中にのみ、農民大衆とプロレタリアートとの××的同盟は成立するのであるかゝる場合に傍觀的態度を採るものは、全然非××主義的であり、全然非レーニン主義的である。反××的諸要素が示してゐる任務は、正に、農民大衆のエレメンタルな××化を意識的な干涉によつてハグラかすことに在る。そして、彼等は、吾々がさきに注意したやうに、過古の成果を示して之を將來とも適用せしめやうとするのだ。だが、それにも拘はらず、今日の時代における資本主義社會の基本的階級對立は、彼等のかゝる干涉に一定の制限を加へ、農民の下における××主義的活動に汎な可能性を與へ、××の×のための客觀的條件を作り出してゐる。が、實際上、勝利は、唯、農民問題の偉大なる意義を意識する××が農民團に對して正しい政策を適用し、之と共に、プロレタリアートがヘゲモニイを握る所の勞農の××的同盟の確保の下に、村落に對するブルジョアジイと社會民主々義者との影響を組織的に除去する、と云ふ前提の下においてのみ考へ得られるのである。

（二）マルキシズムの光の下における農民問題

勞農の××的同盟の形成のための前提は、たゞに工業プロレタリアートの××化を條件づけるのみならず、農民大衆の××化をも條件づける所の、階級對立の尖銳化である。

農民××と農民戰爭との硏究は、吾々に次のことを示す。農民は、農業が一の歷史的型態から他の歷史的型態へ移行する强烈な××的刺激の狀態に立つと、即ち、移行期においては、上昇した生產力の影響の下に古い農業關係を××し、新な農業關係をそれに置き代へる、と云ふことを。その例は、フランスとイギリスとの第十四世紀における農民××と農民戰爭とであり、中歐の第十六世紀における同樣の現象であり、第十六―十八世紀の經過中ではロシヤにおいても考へられる所である。當時ロシヤにおいては、農民の奴隸化に對する報復、又は、商業資本主義――農業をその

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

影響範圍に引き込み、古い貴族的關係を破壞し、そのあとへ新なブルジョア的關係を植えつける所の――の破壞的作用が行はれた。同樣のことは、商業資本主義から工業資本主義への移行期においても、金融資本による農業の包括においても考へられる。今日、帝國主義の時代における農民の××化は、金融資本が、常に大きな範圍において村落をも自らの渦卷きの中に引き込んでゐる所の、巨大な、驚くべき階級對立の一現象である。西歐ブルジョアジイは、政治的支配のためのその鬪爭の時代にあつて、自らの任務を多かれ少かれ成功的に解決した。けだし、古い農業關係の急激な破壞と云ふことは、巨大な農民大衆を政治的無關心の狀態から引き離し、古い支配との鬪爭への彼等の參加を條件づけたから。ブルジョア革命は、農民團の××化の事實が存在するやうになるや否や、及び、ブルジョアジイが農民團を自らに吸收することを理解するや否や、勝利したのである。

　農民がその抑壓者に對して獨立的な自主的勢力として立つた所ではいつも最後に敗北した、と云ふことは歷史が吾々に敎へる所である。されば、農民は、他の××的な社會階級と同盟し、そして、その××的階級の指導下に立つた時にのみ、勝利を獲得しうるのである。イギリスの××及びフランスの大革命の時代にあつて、農民は、專制主義××並に封建主義と農奴制との遺物の破壞のために戰ふ小ブルジョアジイの友軍を形成した。農民は、そこでは、ブルジョアジイとの同盟によつて自分を解放したのである。そして、更に、若干の農民層にあつては、地主の土地をすら所有するに到つた

　マルクスとエンゲルスとは、プロレタリアの天才的戰略家として、此の歷史的敎訓を攝取し、眞先きに勞農の××的同盟に關する問題を提出した兩者が××におけるプロレタリアートの具體的任務を考へた所では、いつでも農民團と工業プロレタリアートとの同盟の必然性が示されてゐた。然も、彼等によれば、此の同盟は、たゞに土地勞働者と結ぶのみならず、小所有者及び小作人とも亦結ばれるべきである。吾々は、かやうなことを、例へば、マルクス、エンゲルス、並にその他によつて書かれた一八四八年の獨逸××主發者の綱領の中で讀む。

　『獨逸プロレタリアートの利害の中には、一切の稱力をもつて上述の方策の遂行に參加する小市民――及び農民部分がある』。

　茲には、勞働者と農民とは社會の異なつた階級とグループとに屬するにも拘はらず、××的時代にあつては、生活上の、利害から結合し、共同の××的鬪爭を可なり大きな範圍になつて展開し、同時にそれを一つの必然性とする、と云ふ考へが充分の明白さをもつて表現されてゐるのだ。一八五六年三月十六日にマルクスからエンゲルスに宛てた有名な手紙の中にも同樣のことが書かれてある。

　そこには、プロレタリア××における階級勢力の根本的分配が――それは今なほその正當さを保つてゐる――、天才的な鋭い眼をもつて示され且つ、プロレタリア××の勝利の確保のためのプロレタリアートの戰略的主要任務が前面に高揚されてゐる。茲で、主要任務とは、プロレタリアートが支配階級××のための鬪爭において、その指導の下に出來得る限りの廣汎な農民大衆を動員――その重要なる農民の利害の名の下に――することである。エンゲルスは、一八七〇年に書いた著作『獨逸農民戰爭』の序文中で、同じやうな考へを發展せしめてゐる『いつまでも、恐らく一生涯勞賃によつて生活する所の階級、プロレタリアートは、未だ獨逸人口の大多數をなしてはゐなかつた。プロレタリアートはだからその同盟者について考へた。そして、此の同盟者は唯、小市民、都市のルンペンプロレタリアート、小農及び農業日給勞働者の下においてのみ求めることが出來た』。

　マルクスが注意したパリ・コムミューンの敗北の主要原因の一つも、結局、都市プロレタリアートが、農民團から離れてゐたことに在つたのも亦、有名なことである。

　マルクスとエンゲルスとは、だが、プロレタリアートと農民團との同盟の問題を、××の諸條件の成熟と、××の勝利的出發の選定、と云ふ契機の下に展開した。彼等の認識によれば、此の同盟がその歷史的正當性を保つためには、必然に、プロレタリアートと被壓迫農民大衆とが、資本家と地主との支配の××のために××的同盟を結ぶことを要するのである。

　國際××の直接的展開について示したマルクスとエンゲルスとの見解は、だが、廣く知られてゐるやうに、その生存中に確證を見出さなかつた。その後、資本主義の組織的發展の時代は、此の問題を疑ふべきものとするに到つた。かゝる狀勢は、背てマルクスとエンゲルスとが展開した批判によつて長らく沈潛してゐた農業の特殊的發展の道行きに關する小ブルジョア的理論、及び、社會主義への進化的道行きに關する小ブルジョア的農業ユートピアと農業共同組合的ユートピアとが、再生する出發點となつた。此の新なる條件の下にあつて、農民團に對するプロレタリアートの關係についての問題の立て方も亦、變化した。

　修正主義者、改良主義者、及び、その他の社會民主々義諸派内の兄弟共は、一連の『爭ふべからざる事實』に基き、次のことを『證明』した、日く、農業發展における集中法則は何等の確證がない、小經濟經營はたゞに消え去らないのみならず、益々上向し行く傾向がある、小農業は大農業

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

に對して卓越性をもつてゐる等々。マルクス主義の之以外の基本テーゼに對する彼等の批判も、右と同樣な精神に基いて發展せしめられてゐるマルクス主義に對するかゝる理論的攻擊の最後の結果は、遂に、社會民主々義をして、プロレタリア××の黨から、小ブルジョア的改良の黨へ轉化せしめざるを得なかつた。

特に、修正主義者は、農業問題に對する關係においては、『實證的な農業綱領』を示したが、此の完全に、何の矛盾もなく農業における私有資本主義的關係の土臺に立脚しつゝ社會主義的主要原則を無理矢理に破壞する所の、『實證的農業綱領』こそは、社會民主々義への農民の流入を強める、と云ふ唯一の任務をもつてゐるのである。かくして、マルクスとエンゲルスとがプロレタリア××の武器として提示した勞農の同盟は、衰頽せしめられ、日和見主義者の卑俗な頭の中で、社會民主々義派の選擧成績を良くするための卑しむべき農民獲得とされたのである。

かゝる狀勢の下においては資本主義諸國家の××的マルキストは、第一番に、マルクスの發見した農業における資本主義的發展の法則は適用されないと主張する小ブルジョア的理論とユートピアとをタヽキ伏せ、ブルジョアジイが容易に贊成しうる狀態の下に修正主義者によつてプロレタリア內部に宣傳されてゐる所の理論の、反動的、反××的意味をバクロしなければならなくなつた。かくして、一八九四年、獨逸社會民主黨のフランクフルト大會において、エンゲルスは、社會主義的諸原則を放棄する農業修正主義に對し、露骨に、反動的と云ふ燒印を押したのである、エンゲルスに刺戟された獨逸の××的マルキシストは、ダビット、フォルマールその他の修正主義者の『實證的農業政策』を戰ひ取ることに努力した。

一般に、修正主義の理論的崩壞、特殊に、農業問題における修正主義の理論的崩壞は疑ひもなく社會民主々義中の××派の大なる勝利を意味した。農民團に對するプロレタリアートの關係の規定においては、次の見解が勝利した、即ち、農民團がプロレタリアートの××のみが自らの解放をもなしうることを意識するや否や、プレハノーフに云はせれば『農民が自分自身の階級の見地を捨て、プロレタリアートの見地を自らのものとする』や否や、茲に、農民と勞働者との同盟が考へ得られ且つ、許されうる、と。資本主義に抑壓され、滅亡にひんしつゝある、小農の下における社會主義の宣傳が、此の小農をして、一つの確信、即ち資本主義的諸關係と抗爭するプロレタリア××のみが自らを搾取と貧困とから解放しうるものである、と云ふ確信を持たしめることは、容易に理解される所であらう。プロレタリアートは、資本主義的發展の過程において生起するあらゆる搾取からの小農民の實踐的防衞と結びつかなければならぬ。それは、プロレタリアートをブルジョアジイの影響から引き離すための最も望み多い途である。所が、社會民主々義者は、實踐的活動の方面では、多くの場合において、いつも小農民に對し極めて無頓着であつた。

ブルジョア民主々義革命の任務を未だ果してゐない國、例へば一九一七年二月以前のロシヤでは××的マルキシストは、マルクス主義の理論的立場を、たゞにマルクス主義の修正者の攻擊に對抗して防衞したのみならず、折衷主義的なナロードニキのイデオロギイの追從的攻擊——修正主義的マルクス主義に一つの『主觀的イデオロギイ』を結びつけやうと努力する所の——に對抗して防衞した。更に彼等は、一九〇五年、農民の利益のために、地主の所有物の××なる××と、地主の土地の××とを叫んで立つた彼等は、こうすることによつて、社會主義のための廣汎なる鬪爭に都合のいゝ條件が與へられると考へたのである。そこでは、勞農の同盟が、正に、直接的な××的活動の機關として一の高い意義をもつてゐた。此の點において、斷呼たる××的マルキシストたるボルシエビキは、ロシヤメンシエビキに對する卓越した勝利を擬つた。レーニンは、農民團をブルジョアジイの後備兵にしやうとするメンシエビキに反對し、此のブルジョア民主々義革命が演ぜられるロシヤの特殊的條件の下において、××の推進力はブルジョア——彼は、プロレタリアートが獨立的階級として鬪爭の舞臺に登場し、且つ、××の深刻化が始まるや否や、反××的となる——ではなくて、プロレタリアートであると云ふこと、並に、かゝる條件の下においては、プロレタリアートのヘゲモニイの下における勞農の同盟——唯一の××的ブロックのみが可能であると云ふこと、之の證明をした。『勞働者と農民との××的民主々義的獨裁』と云ふ、ブルジョア民主々義革命におけるボルシエビキのスローガンの正しさは、事實によつて完全に證明された。

（三）プロレタリア××の時代の農民團とプロレタリアートとの關係

コムニスト・インタアナショナルは、國際プロレタリア××の時代に生れた。この偉大なる歷史的任務は、最近帝國主義の段階に入つた資本主義社會の內部に成長した××的力を集中し、且つ、此の勢力を世界帝國主義の××のために組織し、糾合するに在る。

『コムニスト・インタアナシ

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ヨナルは、資本主義組織の××たる××的プロレタリアートの國際的組織の歴史的必要を成就する唯一の國際的權力であり、その綱領は、プロレタリア××と××主義とであり、そして、公然と國際プロレタリア××の組織者として出現した』。

換言すると、それは、コムニストインタアナショナルの綱領の實現を約束するものである。かやうな基本任務――個々の××の任務も亦――と關連して、農業問題、即ち、プロレタリア××期における農民團に對するプロレタリアートの關係の問題も新なる地位をもつやうになつた。過古の時代においては、プロレタリアートは、階級闘爭に有利な條件を作るために此の問題に興味をもち、封建主義の殘存物を除去して資本主義的發展の途を淸め、且つ、同時にそれ自らの勢力を動員したが今や、プロレタリア××の時代、即ち、歴史が資本主義的組織の××を日程に上してゐる今日にあつては、彼は、自らの戰略的任務に基いてプロレタリア××における同盟者を求める。プロレタリアートは、恐るべき敗北の脅威の下に、狹い職業的利害について叫び、且つ、結局自分自らの改善のための配慮を放棄してゐる所の廣汎な農民大衆の積極的支持を確保し、一切の勤勞し、搾取されてゐるものゝ前衞となり、××××のための闘爭において、その指導者となる』のである。此のことは、農業問題に關するレーニンのテーゼに示されてゐる所である。かゝる視角の下に、今日、農業綱領の重要なる問題のスローガンと農民問題の戰術のスローガンとが起されてゐるのである。

社會民主々義諸黨は、前革命期にあつては、原則として、土地國有のスローガンを綱領的要求の型態において絕叫した。彼等は、國有を、社會的土地所有の特殊的型態として主張し、更にそれを、農業における社會主義的生産型態の實現のための不可避的前提として提唱したのであつた。

之等のことが、現在に取つても亦充分妥當することは明かだ。總ての土地の國有と云ふことは、××黨の一般的目的でもあるから。然し乍ら、社會民主々義諸黨は、今日のプロレタリア××のための闘爭期における農業綱領の作成に當つても、なほ依然として、此の勝利の確保者たるプロレタリア××の利害を高揚することなく、何等かの空論的な沈思默考にふけつてゐるが故に、それは憐れむべき空論家であり、且つ、決して××的な黨ではないのである。よく知られてゐるように、ブルジョアジイは農民大衆と自己との統一戰線を常に私有財産の上で建設し、今日の××期にあつてもなほかやうな希望をもつてゐる。大陸の××主義者に對するブルジョアジイの煽動武器は、農民は財産の所有者であるのに、××主義者は私有財産を破壞しやうとする、と云ふことだ。そして、此のやうなアヂは、或る一定の國家、即ち、ズット前に起つた村落における前資本主義的關係の變化の結果、私有財産についての感情が深く農民の中に根を張つてゐる國家において、展開されたのである。だから、かやうな國家において、×××が、××が勝利した場合には總土地の即時國有のスローガンを發し、もつて一面では、大地主と小農との所有者ブロックを強め、他面では農民團を土臺とするプロレタリアートと農民團との揳を強烈な分裂的傾向にまで追ひやるやうな事態を引き起すことは、斷じて許されないであらう。反對に、××黨は、私有財産者間の戰線を破る一つのスローガンを提示し、もつて、大地主を農民大衆から孤立化し、同時に、農民團とプロレタリアートとの同盟を嚮導し、確立しなければならぬ。かやうなスローガンとは、總ての大所有地の××でありそして、此の沒收した土地は、無料で使用する權利を附して全く土地の無いもの、及び、土地に缺乏してゐるもの、若干の場合には中農にも細分して與へるべきである。大地主、地主の所有地その他の無××的な××、並に、農民に對する××大土地の無料分配と同時に、プロレタリア××は、土地、田畑における私有財産權の完全な××を宣告しなければならぬ。當該國家の具體的條件がそれを許す場合にはつまり、此のことが農民大衆を××から遊離する危險のない限りは、更に進んで、總ての土地の國有をも宣告すべきである。一定の國家、主として農奴から殘有してゐる足跡をなほ新しく保つてゐる國家においては――此の例にはツアーリズムのロシャがある――、何等の危險なしに、此のやうな改良が、遂行される。農民がその私有財産の上に安住してゐる古い資本主義的な國家において、總土地の、從つて又小農中農の土地の國有を×××の直接の綱領的要求の型態において置くことは、一つの冒險であり、從つて誤謬である。

土地國有に關する問題は、正しく既にレーニンの農業テーゼに示されてゐるが、コムニスト・インタアナショナルの綱領は、それに徹底した果實を與へた。即ち、總土地の國有と云ふことを、プロレタリア××の下にあつて社會主義、それから××主義に進化する社會の避け難い展望として特徴づけたのである。が、プロレタリアートはその勝利の直前には、都市と地方とにおける總土地の××とそのプロレタリア的國有とを斷行し(又、私有財産、僧院等に)國家所有の、及び共同所有の土地、財産、山林、沼澤等を一括してソビエットの手に移し、その後に總土地、田畑の國有を行ふべきである。『總土地のその後の國有』が當面することは、此の改良を個人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

主義的農等からコレクチーヴ農業への不可避的移行——多かれ少かれ長期に亘る過程と見られ、且つ、國家權力をして、決して『中農に對するいかなる强制をもなすことなく漸次な實例の力によつてのみ大なる豫見をもつてのみ』此の移行を遂行なすべく迫る所の——と結びつけることである。

（レーニンのテーゼ）

之と同様の考へは、エンゲルスによつて既に語られてゐる所である。更に、

『××の成功を確實ならしめるためには、プロレタリアートは、生産の一時的低下に恐れてはならぬ』——と、こうレーニンは、極めて鋭く、且つ、範疇的な型態において、一定の場合に××された大土地の分配が許さるべきであるが、どうか、と云ふ問題と關連してプロレタリア××の重要な戰術的原理の一つを規定した。かやうな活動方法は、卑俗なるマルクス主義の見地からは許されない所であり、且つ、此のレーニンの規定は正に彼等の見地からは異端的に見える。そして、實際上此の規定は、第二回世界會議の席上で行はれた農業テーゼの討論に際し、一定の反對に出會した。此の反對者こそ、當時なほ、××の原則中にあつて克服されてゐなかつた社會民主々義的偏見の所有者であつたのである。此の、十月革命の積極的經驗と、ハンガリイ及びポーランドとの消極的經驗とに支持されてゐるレーニンの規定こそは、コムニスト・インタアナショナル内部において、一般的な價値を持つてゐるのである。

プロレタリアートの社會主義××は、自らの内部に發展した生産力の梏となつた資本主義的關係のワクを××するだが、かやうな成果が一般に可能であるためには、第一番に、搾取者が××されなければならぬ。『プロレタリアートの勝利の確保とその固定化とは、プロレタリアートの最初の、そして、重要な任務である。』されば、プロレタリアートは、大地主と資本家とに反抗する重要なる農民大衆をプロレタリアートの味方に吸收するため、各種の大土地の分配を行ふ必要があるし、その際、『生産の一時的低下』を引き起すやうな方策の前にも退くべきではない。高度に發展した技術と、數多の教育あるプロレタリアートとをもつ最進歩的資本主義國家においても、巨大な、そして、良く組織された農民經濟の分配は全く稀な例外である。例外ではあるが、此のやうな部分では、それは、壓倒的に、ソビエット經濟（Sowchoz）の典型に從つて國家的經營に變化する。にも拘はらず、かやうな場合は後進國家において屢々繰り返へされるであらう。一定の場合において大土地の分配を承認する××主義者は農業的大經營の小經營に對する卓越性、並に、農業のコレクチーヴ化の必然性と不可避性とに關する××的マルクス主義の見地に決して反對せずそれによつて、××主義者は又、ベルンシュタイン、ダビッド、及びその學派たるヒルフエルディング、クリユーゲル、バアデ並に、その他の獨逸社會民主々義の新人共——彼等は自黨のキール大會（一九二七年）で新農業綱領を作成し、それによつて、農業問題の方面での××的マルクス主義の傳統的見解、即ち、三十年以上の經過の中に小ブルジョア的修正主義の顚覆に努めてきた所の傳統的見解と、決定的に決裂した——の姿の中に見出さるゝ小ブルジョア的空想主義者、反動家の陣營には決して落ち込まない。

ヒルフエルディングは『農業問題に對する理想的注意』なる一論文（『社會』一九二七年、第五號）の中でコッソリとこう云つてゐる。

『こうして、マルクス的方法の適用は、嚴密に、集中法則が農業に取つては何の價値をもたない、と云ふことを示すのである』

今でも未だ、かのキール大會で農業に關する報告者であつたクリユーゲルは同じやうな口調でこう云つてゐる、小經濟の變革を迫るが如き社會主義の學説なるものはあり得ない、集中化法則は唯工業にのみ作用するものであり、農業には決して作用しない、と。マルクスとエンゲルスとは、農業的大經營を將來の型態として考へたが、それは、彼等にあつては、プロシヤのスタインーハルデンベルグの農業型態、並にイギリスの小作人の大衆サボタージュの印象を受けて、農業的大經營は經濟的土壌からして小經營を併呑してしまふと云ふ考へを成したからであつた。當時、彼等は、此の問題を更に進んで經濟的原因からよりも、政治的原因からこう云ふべきであることを、理解してゐなかつたのである。

第二インタアナショナルの理念的指導者たる獨逸社會民主々義が、農業問題においても亦、社會主義の地位を徹底的に放棄し、且つ、村落における私有財産と資本主義的諸關係との見地に移行してゐることは、全く明かである。之と反對に、××主義者は、工業と農業とにおけるブルジョア的諸關係の清算のために、並に、此の清算の唯一の手段であり、重要なる要因である所のプロレタリアート××の勝利の確保のために、一時的なものとして大土地の一部の分配と云ふ、プロレタリアートの××的戰略から與へられた方策を正當化するのである之をもつて、××主義者は、正に、彼等が××的マルキシストであることを證明するのだ。けだし、××的マルクス主義は、第一に、一切の勤勞者と同盟を結ぶ××的プロレタリアートによる、資本主義的支配の、大地主の、及びその他の搾取者と寄生者との××に關する理論であるから。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

（四）農民團の解放者たるプロレタリア××

廣汎な農民大衆をプロレタリアートの味方に吸收すると云ふ戰略的作業は、資本家と地主との支配の××について基本的に考へ、精力的に行動し、且つ、あらゆるそれのチャンスを掴む所のプロレタリアートの××の中に在る。資本家と大地主との××の××については、農民團の廣汎なる層も亦、生活上の利益をもつてゐるのであるから。

『地方の勤勞大衆は、ユンカア（大地主）とブルジョアジイとの軛の××のための××的闘爭の斷乎たる支持の中にのみ自らの解放を見出す所の××の同盟者である。けだし、唯××に指導される都市及び工業プロレタリアートのみが、村落の勤勞大衆を、資本と大地主との軛から、混亂と帝國主義戰爭から、解放しうるのであるから』。

（レーニンのテーゼ）

××主義者は、農民に對し、農民に取つて最も重要な土地問題のスローガンについて、××的な、ロシヤ革命の經驗によつて試驗濟みとなつてゐる途を示す。此の途は、從つて、全土地をそれに附屬してゐる農業上の財産目錄と共に何等の代償無しに勤勞農民に與へる。即ち、此の××は、地代と云ふものを、徹底的に最早復活することなしに撤廢し――それに何等かの勞働搾取の異つた型態を置き代へることなく――、農民を直接的抵當物、質札及びその他の債務から解放するのみならず、無用な租税によつて戰債その他の國家の負債を支拂ふ義務からも解放し、更に、農民を、商業―工業―金融資本による搾取の一切の型態からも解放するのである。

之等すべてのことは――又は、その中の一部分だけでも――、農民をして××を支持せしめるものであり、その他に、かゝる農民の生活要求を滿たす他の途があり得るか？

ブルジョアジイとその社會民主々義的從者共とは、『平和的な』農業改良について喋々としてゐる。第一に、此の農業改良なるものは、ロシヤ革命の影響の下にある農民の徹底的ボルシエビキ化を豫防せんがための、農民大衆の××的運動の彈壓の下にのみ、達成されるのである。されば此の農業改良は、廣くかやうな『平和的な』性質をもつ。だから、彼等は、××的影響が弱くなり、ブルジョアジイが確固たる土臺を築くやうになるや否や、一般に、さきの農業改良に關するあらゆる考へを放棄するか、若しくは、その實現をサボるに到るかするのだ。又、たとへそれが實現されてゐる所にあつても、それは唯、主として大地主の土地の一部分を富有な農民層に分配するのみで、農民は決して之によつて地主の軛から解放されないのみならず、更に高利貸、銀行家及び國家等にその土地を引渡さざるを得なくされるのである。すべての資本主義諸國家の經驗は、資本家と地主との支配下にあつての『農業改良』は實際上たへず新型態における農民大衆の搾取の強化のための一手段に轉化すること、即ち、小地主の新なる大衆搾取の條件を準備するものであることを示してゐる。資本主義的發展の法則を克服するに全く無能力な此の『改良』は、たへず再び、元の出發點にまで逆もどりしてゐるのだ。

金融資本の時代においては廣汎なる『農業改良』は決して農民大衆の狀態を眞に改善するものではなく、それ故に之等大衆を各種の搾取から解放することは極めて少ないものである。貧農團がたへず困窮に陷入つてゐること、及び、甚だ屢々中農も亦そうなつてゐること、もうこんなことに關してシャベリクルのは澤山だ。甚だ屢々農業をタヽキつぶし、且つ、富有農民團の内部に一つの大量沒落を引き起す所の經濟恐慌に關してシャベルのは、もう澤山だ。農民を苦しめる惡の源泉は、今や、之等農民が自ら耕作する自分の土地を持たないことにあるのではなく、賃勞働者又は半プロレタリアートを搾取し、壓迫すると同じ樣式において小農や小作人を搾取し、壓迫する所の寄生的階級の支配と云ふことに在るのだ。されば、資本家と大地主との××の××なしに農民の解放について語ることは出來ない。たゞプロレタリアートの見地からだけでなく、勤勞農民團の見地からも、農業問題は、今や、××的問題として高まりつゝある。それ以外のあらゆる問題提出の仕方は、唯ブルジョアジイの利害をのみ代表するものであり、それは、プロレタリアートからのみならず、勤勞農民團からも亦拒絶されなければならぬ。

吾々は、既に、社會民主々義が、農業問題においても亦、ブルジョアジイの味方となり了つたことについて證明したが、かの第二インタアナショナルのオーストリイ・マルクス主義派――『左翼』の役割を果し、且つ、屢々然も『××的』な空論をもつてコケッシュな態度を採つてゐる所の――見地も之と同樣である。オーストリイーマルクス主義の卓越した理論家オットー・バウエルの農業綱領について云つて見てもそれは結局、大―中農を富まし、且つ、彼等には安價な勞働力を保證する――特に勞働力が高くなる農業的期節勞働中において――所の、部分農業の維持である。吾々は、彼の著作『森林と牧場とのための闘爭』の中で次のやうな言葉を見る。

『吾々は、農業勞働者に過大な土地を分割することは出來ない。かやうな分割を許さないことによつてのみ、農業勞

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

働者は、その勞働力を賃勞働に生かしうるのである。だが、此のことは他面において、彼等をして勞働需要の少ない月にはそれ自身の經濟の利得によつて生活することを得せしめるものでなければならぬ』。(二二一頁)

『强力な』新興ファシズムによつて死の巷に追ひ込まれつゝあるオーストリイ社會民主々義は、オーストリイ・プロレタリアートを組織的に盲目ならしめブルジョアジイを熱心に援助し、エレメンタルな激しい××的焔を消し止め、自らの『民主々義』、『議會主義的』方法の効果を喋々する必要を感じてゐる。從來、彼等は、此のやうなことを勞働者に向つて云つてきたのであるが、今では農民にも云つてゐるのだ。彼等は、都市勞働者を充分に瞞し込んだから今や此の見解を農民に適用しつゝある。オーストリイの大中農に秋波を送つてゐる。高まりつゝある××の時代におけるオーストリイ社會民主々義者の『平和的』『進化的』及び『議會主義的』戰術は、プロレタリアートに對する裏切りと、ブルジョアジイの支持とを導いてゐる。現在の資本主義的—大農的—ファシズム的秩序の一組織構成分となり了つたオーストリイ社會民主黨は、同樣な『民主々義的』「議會主義的」な考へから、その農業綱領においても極めて要心深く、一體、徵收された大土地を代償をもつて農民に交附するのか、又は、何等の代償なしに無料で渡すのか、について沈默して語らない。そして、此の沈默こそは、代償原則の是認を意味するのである。左翼社會民主々義者は、細心な配慮の下におけるその改良の實行において、大農と資本家との利害を守ることをその本務とし、徹底的にブルジョアジイの陣營に移行してゐるのだ。

農民團の中に私有財産に對する感情が深い根を下してゐる資本主義諸國家にあつては、土地を所有する農民と村落貧農との同盟を一つのノンセンス、一つのユートピアとし、ブルジョアジイの陣營内で農民の地位と云ふ詞に力を入れて、もつて、農民の『反プロレタリア的意義』を『證明』せんと企てゝゐる。けだし、ブルジョアジイは、私有財産を基礎としての貧農との密接な協調によつてのみ、自らの利益を「確保」しうるのであるから、「勞農の同盟」でなくて、「農民とブルジョアジイとの同盟」——之が、村落の「秩序」を「幸福」ならしめ、「安寧」ならしめる、今日の彼等のスローガンである。

此の理論は、村落においても追從者をもつてゐる。それは、第一に地主だ。金融資本は、大土地と工業資本との矛盾を解消し、その反××的同盟を强める。實際上、大地主は農民に屬してはゐない。實際上資本家的企業家である大農は、一般に、若干の賃銀勞働者を搾取してゐる。さればこそ、彼等は一定の矛盾の存在にも拘はらず、工業資本家のグループと無數の硬いバンドを結んでゐるのである。

「彼等は、多くは、××的プロレタリアートの直接的、決定的な×たるブルジョア層である」。(農業問題に關する主旨、一九二〇年)

之に關し、レーニンは、一九一八年に『同志、勞働者諸君、最後の決定的鬪爭へ!』—『レーニンスキイ・スボルニーク』、一九二五年版)

こう書いてゐる。

「クラークは、たゞに吾國の歴史においてのみならず、他國の歴史においても、たへず地主、ツァー、坊主、資本家の支配を反覆して作り出す所の、××な、××な搾取者である……。

クラークは、地主、ツァー及び坊主とたとへ屢々喧嘩はしても直ぐに妥協するになし勞働者階級とは決して私斷しない……」。

村落ブルジョアジイと都市ブルジョアジイとの協調は、××期において特に强固となる。だが、大農は、土地をもたぬもの、土地に缺乏してゐるもの、及び中農の群の中では極く少數に過ぎないから、農民とブルジョアジイとの同盟の問題を廣く解決する事は出來ぬ。ブルジョアジイの農民理論は、村落におけるその搾取の主要對象たる、主要農民層を眼目とするのである。

土地勞働者、及び、大多數の場合において勞農半プロレタリアート、更に、地方における富農の一つを代表する一部の農民は、如何なる樣式においても、決してブルジョア的私有ブロックに結合し得ない。ブルジョアジイは、彼等を邪路に導くことは出來ない。然し乍ら、ブルジョアジイはそのデマゴーグが曝露した際には、之等農民をして××の途からそれしめるために、他の方法を適用し、他の理論を發見する。然も、「勞働と資本との一致」の理論や、「階級協調」の理論をすらも。かの國際社會民主々義及び、アムステルダム・インタアナショナルの英雄共こそは、プロレタリアートと、部分的には半プロレタリアート内部におけるかゝるチャムピオンである。が、ブルジョアジイとその社會民主々義的代理人とのあらゆる努力にも拘はらず、農民團のかゝる勤勞層における彼等の確固たる成功と云ふものは、決して獲得されないであらう。農業勞働者は、勞働と資本とによつて直接に階級鬪爭に引き込まれ、資本家と大地主との支配の××の中に、自らの階級的利益を發見する。彼等は、プロレタリア××の村落における擔當者である。農業半プロレタリアートの地位は、彼等がプロレタリア××を實現することによつて重要であり、公然と、直接に自らの同盟者がプロレタリアートのみであることを確信することによつて偉大である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

村落におけるブルジョアジイの主要任務は次に在る。即ち、獨立的な農業家であり、且つ、農民的生産者である中―小農を――極僅かな例外を除いて、資本主義國家の地方人口の大部分を形成する――確實に自らの指導下に吸收することだ。そして、最初、ブルジョアジイは、所有者戰線の『連帶性』を證明せんと企て、且つ、無財産者の攻撃に對する現存ブルジョア的社會秩序の防衛の必然性によつて自らを守らうとするのである。

その經濟を賃勞働者の一部を使用して維持してゐる中農は、それによつて家族の生活支持以上に出る收穫物があり彼等は之を資本に轉化する。かくして資本主義的ブルジョアジイと彼等の結合は、公然と出現する。多くの資本主義國家において、資本主義的ブルジョアジイは、實際政策の各種の問題の方面で、中農と協調する廣汎な可能性をもつてゐる。今日、一般に、中農は資本主義的ブルジョアジイと共に行進してゐる。彼等は、一連の國家において、大ブルジョアジイのヘゲモニイの下に、國政を關與してゐる。唯、彼等が銀行―大工業―商業資本に依存すること甚しくなるに從ひ、その地位も極めて弱くなる。特にこのことは、彼等を大衆中につき落す恐慌期においてヒドい。されば、此の階級は、資本主義的ブルジョアジイとの「連帶性」に強固な基礎をもつてゐないのであり、資本主義的ブルジョアジイとの協調は、一の單なる一時的のものとして現はれるに過ぎない。中農と大ブルジョアジイとの同盟は、××的危機や、内×の強い打撃の下においては、破れ、且つ、無効となる。そして、農業國、帝國主義的權力に依存してゐる半植民地國、又は、そこになほ有力な半封建的殘存物がある所の國家においては、中農は、然も直接に××の味方へすら入つてくる。

ブルジョアジイとその家來共との主張に反し、小農民團を私有ブロックの上で獲得せんとする彼等の仕事は、從來、失敗に歸してゐる。此のことは、勿論、財産又は獨立的生産が、屢々結合し、又屢々分離することによつて起つたのである。すべては、「財産家」の關係の現實的内容が何處に在るかに、懸つてゐるのだ。だから、私有財産家又は獨立農業家は、唯、私有財産が獨立的農業家の充分な生存を保證し、且つ、將來に取つてもい、見込みを與へてくれた場合においてのみ、私有財産支配の一つの不可缺的支柱でありうるのだ。

自分自らの勞働と、その家族の勞働とを利用する小農民の地位は、賃銀勞働者の地位と同樣であつて、自らの勞働とその家族の勞働とに對する強盜的な、恥知らずな搾取を可能ならしめるマスクをかぶつた型態において、一切の範疇の資本家（地主、商業家、工業家等々）のために、及び、國家のために、租税を貢ぐ。

小農民の生計狀態は彼等の搾取階級が極度に減少し、階級上の關係において賃銀勞働者に近づいてゐる所の、失業の特殊的型態であるが、社會經濟的には彼等は屢々色々に區分されてゐる。ブルジョアジイと小農民との同じい財産名稱は、もつて、唯一つの型態、即ち兩者間の外見上の連帶性を形成せしめる。そこで、小農民は、一時的に幻想に支配されるのであつて、決して之等のグループを二つの相對立する陣營に導く所の深刻な矛盾を解銷することは出來ない。その反對に、小農民と賃勞働者との二つの異つた社會的範疇への形式上の所屬と云ふことは、決して資本家の壓迫に對する闘爭における兩者の連帶性を破ることをえない。例へば、プロレタリアートは、小農民の貧困な地位を改善する方策に反對することを自らの利益としないやうに、又地方、小農民も亦、プロレタリアートの勞働條件と生活條件との全面的揚棄のためのプロレタリアートの闘爭に反對しえないのである。現實の階級利害は、小農をイデオロギイ的にも、政治的にもブルジョアジイから引き離し、勞働者に近づける。

かくして、ブルジョアジイとその社會民主々義家來共との「平和的」な途は、農業問題の××的スローガンに代ることは出來ない。同樣に、××的プロレタリアートを農民大衆から孤立化し、あらかじめ現存秩序を××する一切の企圖を失敗に了らしめんとする所の、所有者戰線の宣傳は破れ、偉大なる階級闘爭――農村を侵透し、且つ、農村を鐵のやうな硬さをもつて包み地方の勤勞民の滅亡と貧窮化とを警告する所の――が出現する。プロレタリアートは、地主と資本家との軛からの農民の解放のための闘爭において、農民大衆の歷史がその正しさを明かにした唯一の途である。

（五）資本主義安定化の時代における勞農の同盟

今日の農業の資本主義的安定化は、疑ひもなく、プロレタリアート農民團との關係にも作用する。之が齎らす新契機を研究し、確定することは、×××に取つて大きな重要性をもつものである。

萬國の廣汎な大衆を包括し一連の國家において××化した所の戰後時代の×××躍進は、戰爭が引き起した破壞、矛盾の尖鋭化に原因する經濟的恐慌の土臺の上で成長し、反亂と大なる農業運動とを導びいた。その恐慌の重大さと云ふものは、中農をすらも××運動に參加せしめ、實際上、中農を抵當物その他債務から解放した位ひであつた。然し乍ら、結局、それは資本

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

主義に落着し、恐慌は克服され、世界經濟は安定化し、××の波は退潮した。此のことは、特に、一時的に反抗と騷擾とを起した中農においてよく見られる所であつた。

　農業にも密接に結びついてゐる資本主義の安定化は、農業恐慌の時期が克服されたこと、並に、農業の普通な「正常」な發展が起つてきたことを意味するか？　否。それは、從來と比較にならぬ程度において、農業における再建過程、從つて又その技術的土臺の再集中が、進行してゐることを意味する。此のことは個々の國家の農業において起つてゐる又、同樣の過程は全體として工業にも起つてゐるのである此のことから、市場傾向の動搖、農業生產物と工業生產物との價格間の不均衡等々をも引き起してゐる。資本主義の不平等的發展の法則は、新たに深刻となつた農業恐慌の上に作用してゐるのである。

　一九二三年から四年へかけて、激化し、アメリカ地主の大量的困窮を齎らした大平洋沿岸の諸國家における農業恐慌は、次のことによつて說明される、即ち、そこでは、農業における再建が工業における再建過程よりも後れたゝめ、農產物の甚しい價格下落を見た、と云ふこと。此の恐慌は、既に廣く知られてゐるやうに北米合衆國、カナダ、アルゼチン等々の勤勞農民大衆の下における×××刺激によつて深刻化した。恐慌は、工業が農業の發展テンポに一步一步追ひつき、遂にはそれを追ひ拔き初めた時に初めて消失したのであつた。たが、他面、此のアメリカで驚くべき速力をもつて吾々の眼前に進行しつゝある一切の型態における工業の集中過程は（トラスト化、カルテル化等々）、無數の獨立的經營に分裂してゐる農業の實際的獨占を實現し初めもつて、新なる農業恐慌の條件を作り出してゐる。アメリカ農業の急速な再建と強固な發展とは、後れた一連の國家、即ち、バルカン諸國家、バルチック諸國家等々――生產費が世界市場における價格水準を超過してゐる所の――の農業內に、慢性的な恐慌の狀態を作り出してゐる。かくして、農業恐慌は、なほ長期に亘つて淸算される徵候を示さない資本主義安定化の條件の下における農業の發展は、唯、一切の社會政策的成果を伴ふ所の、新な、雄大な恐慌のための條件の成熟としてのみ考へられる。農業の合理化、即ち、その機械化、肥料のより廣汎な使用、完全となつた勞働方法の移入等には、不可避的に、他方において增大せる階級交互關係に階級鬪爭との尖銳化を作ふ。非常なる速力をもつて完了される金融資本の支配圈への農業の編入は、金融王の支配下へのその完全な屈服のための土臺と、金融王の掌中への階級支配の集中の土臺とを作り出す。そこでは、新しい嵐が絕大なる階級矛盾を燃えたゝせ、階級抗爭の極度の尖銳化と強力なる社會的變動とが生れる。正に、此のことは、世界市場に取つて主要なパン生產者たるアメリカにおいて――銀行トラストが、實際上、穀物取引の獨占の樹立を始め、その支配下への農業販賣共同組合の完全な屈服を媒介してゐる所の――、今日着々と行はれてゐる所である。此のやうなことは、アメリカ及び全世界における階級―社會政策的關連の發展に取つて枚擧にいとまがない。

　農產物の市場における國際的集中は、たへず益々銳化してゐる。第一に、農業の合理化に作つて、第二には、大衆の消費能力の低下又は、後退に伸つて、及び、農業クレヂット、農業共同組合、輸出配當金の交附に伴つて。その明白な代表者が大農業者である所のかゝる政策は、中農に對する資本主義的ブルジョアジイの影響を強め、おのづから、小農民に若干の幻想を植えつけるに到る。同樣な現象を、吾々は、獨逸、オーストリイ及び一連のその他の國家において見ることが出來る。此のことは、疑ひもなく、かゝる時期においては、農民の下における××主義者の仕事を困難ならしめる、然も、××主義者の働きかけの客體としての中農にあつては、彼等を、帝國主義的壓迫、民族の奴隷化、戰爭危險、白色テロル等々の××主義的宣傳に親しませる他の契機が中農の中に缺いてゐる限り、完全に沒落し去つてしまふ。

「農業の健全化」は、一つの明白な階級政策である。それは、村落の資本主義的支配の政策である。貧農團は、それによつては、餓死以外の何ものをも與へられず、徹頭徹尾その一般的地位の劣惡化を導く、農業稅は、その全重量をもつて、プロレタリアート、都市勤勞大衆及び、小農的生產者の上に壓迫してくる。それは、かくして、直接稅、特に間接稅の形式で、勤勞者階級の收入から出來うる限りの廣汎な尺度において、搾取する資本主義的財政組織の補充である。資本主義安定化は、到る處で、廣汎な勤勞者層を犧牲とする租稅過程の活動のたへざる強化を作ふ。かくて階級對立と、階級鬪爭とは次第に深刻化し、尖銳化し、之と共に安定化は破れる、ブルジョアジイの農業政策と租稅政策とは、村落における××主義者の仕事のための有力な材料を供給する。）即ち、××主義者は、小農民の直接營農的利害から出發し――そして小農がプロレタリアートと共同にも利害、更に、彼等の特別の利害に屈してゐる所のそれから出發し――、銳化せる階級方針を遂行し、小農をブルジョアジイから切り離し、實際上、小農に對するブルジョアジイの影響をタヽキ伏せなければならぬ。國營工業及び國營農業の保護組織としての高率な輸入稅は、非常に危險な（ブルジョアに取つて）結果を伴ふ鬪爭武器である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

かつて、オーストリィ政府は、大農の影響の下に、「國營農業」を保護せんがために、肉類に對して高率の輸入税を課したことがあつた。にも拘はらず、此の企ては、オーストリィの工業産物を總ボイコットによつて脅かしたポーランド政府の鋭い反對にブッかつた。所が、オーストリィ政府は、此の農業税をポーラントに對してでなくて、アメリカ――アメリカはパン、肉類等の歐洲への供給者である――に對して設定したのであつたが、此の眞意はアメリカ政府の知る所とはならなかつた。もし、アメリカ政府が之を知つたら、その結果として、兩國の關係の强烈なる鋭化が、新帝國主義戰爭の危險の切迫が十中の八九まで確實に起つたであらう。一般に農業の發展が、工業の發展と同じく、過ぐる帝國主義戰爭の破壞を未だ僅かしか克服してゐなかつた當時において、此のやうな出來事は、階級對立と中立國家の對立とを擴大し、深刻化し、不可避的に新戰闘にまで赴いたであらう。此の關係は、若し人々にして、世界經濟とその社會主義的宗派との分裂的關係――ソビエット社會主義の熱演的準備の中にその反射を見出す所の――について考へたなら、更に明かになるであらう 正しく、新帝國主義戰爭の急速なる切迫は村落における××主義者の活動に廣汎なる展望を可能ならしめる。恰かも、フランスにおける豫備兵の週期的な大衆動搖――主として農民出身の――例が吾々に教へるやうに。

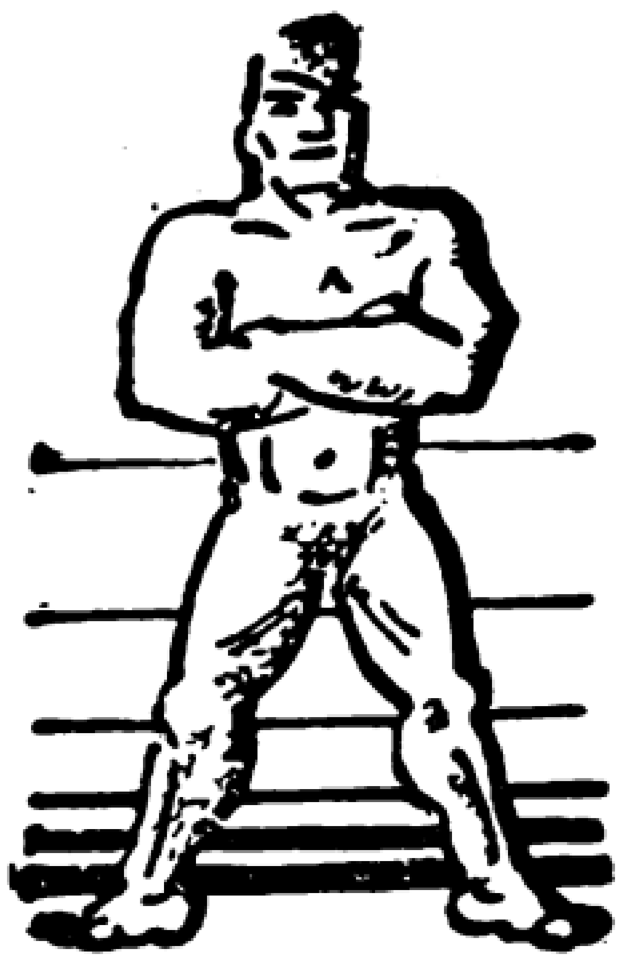
茲まで、吾々は、農業の安定化は同時に此の安定を破り且つ、その支配下に勤勞大衆のラヂカール化の過程をあます所なく强烈に進行せしめる所の諸矛盾――一定の農民層の一時的、瞬間的進出は、促進されたラヂカール化のテムポにより、他の層をも極度に動搖せしめる――の成長に伴はれる、と云ふことを充分の明白さをもつて示してきた。支配的ブルジョアジィに迫る所のかゝる狀勢こそ、正に、勤勞農民大衆に對する彼等の二重の政治的攻擊を展開せしめる。一面では、村落における社會民主々義進出の型態で、他面では、ファシズムの型態で、此の二つの途で、此の二つの援助によつて、双方相助け合ふ方法で、ブルジョアジィは、他方における××主義の傳播を消し止め、プロレタリアートがヘゲモニィを握るプロレタリアートと農民團との×××同盟の形式をまひせしめやうと努力する。村落における社會民主々義の任務は今日、小農に對するブルジョアジィの影響を强め、且つ、資本主義的農業大經營における「平和」を組織することに在り、ファシズムの任務は、白色テロル、一つの、又は、他の程度において、公然の、又は、マスクをかぶつた型態において、たへず次第にブルジョアジィの支配的な政治組織となり、且つ、社會民主々義の活動が不充分な所では之を補ふ所の野蠻な獨裁に在る。されば、社會民主々義の假面の暴露、一歩一歩その行動の中に農業勞働者及び勤勞農民團の利益を放棄する彼等の本態の具體的問題を捉えての追究、村落における野蠻なファシズムの精力的な驅逐――、之こそは、地方における××主義の本質的任務である。勞農の××的同盟は、社會民主々義とファシズムとに對する闘爭の中に、ハッキリと作り出されるのである。

資本主義安定化は、不可避的に、農民大衆組織――同盟と黨――にも、その綱領とその戰術にも作用する。大農業者の指導下にある組織は、そこに集結されてゐる中農の安靜さによつて新たに强化し、且つ、特に小農の一定數をも自らに吸收しつゝ、資本主義的土地所有の利害の擁護者となつた。中農が指導的役割を果してゐる農民大衆同盟も、同樣に、都市の資本主義的ブルジョアジィとの協調の途上において、一歩右傾した。が、かゝるブルジョア線は、必然に、小農民團の反抗にブッかる。地方農民同盟及び、組織に對する關係についての××の任務は、ブルジョアジィに對する闘爭の中に在り、又、かゝる影響を第一に、土地勞働者、半プロレタリアート、及び小農民から引き離す企ての中になければならぬ。此の目的のためには、××黨が、かしやくする所なく小農民の指導的のブルジョア的、協調的傾向を暴露することだ。××主義者による農民團の全面的支持は農民團の内部の左翼的、××的流れの指導と組織とについての仕事を容易ならしめる。

農民の「獨立的活動」と云ふ型態におけるブルジョア的影響は、屢々農民大衆の中に一つの途を切り開かうと企てる。ブルガリヤのスタムブリンスキィ農民政府の撥つた運命によつて見出さるゝ歴史的經驗は、もつて獨立的な農民政府などを決して主張しうるものでないことを、爭ふべからざる事實として示してゐる。かゝる場合において「獨立的」農民の戰術なるものは、小農民團をプロレタリアートから引き離す一手段、ブルジョアへのその移行のための準備の歩み以外の何物でもない。××主義者は、かゝるブルジョアジィの家來共の本態を曝露し、農民大衆をして全力をもつて次のことを意識せしめなければならぬ。「唯、農民團に支持されたプロレタリアートのみが、搾取者に對する兩階級の勝利的闘爭を眞に確保しうるのである」。

×　×　×

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



水葬

——二幕——

土佐和芳

人物

火夫。水夫。油差。給仕長。火夫長。水夫長。船長。機關長。一等運轉士。宣教師。其他士官及び、船客大せい。

南米航路を進行しつゝある海洋丸の甲板。

一つの風もなく、惱しい迄に晴れ渡つた空の下に、赤い血の樣な夕陽が、油を流したやうにどんよりとした熱帶の海を眞赤に染めて、水平線に沈まうとしてゐる。

火夫や水夫が、一個の死體を水葬にする可く、キャンバスに包んで、錘飾型の物を作らへてゐる。

×

水夫一—(死體を包みながら)ほんとうに、なんてかう暑い日が續きやがるんだらう。逆者な奴でもやられさうだ。

火夫一—何、此邊なんかまだやさしいんだ、かまの前で一時間程立つてみろそれこそまいつてしまうぞ。

水夫一—どうしてかういち惡く風が吹かねえんかな、まるで地獄の八丁目だ。

火夫二—(死體に)こいつもほんとはこの暑さにやられたんだね。

火夫一—さうだとも。

水夫一—憎い暑さだ——船乘りなんて奴は、孫子の末迄さすもんぢやねえ。

油差—そんな事あ判り切つた話だ。だが、俺らのやうな船虫が陸へ上つた處で一體何の役に立つてんだ。魚を陸へ放り上げたより、もつとおとましい日を見なきやならないぜ。それも金があるとか、また上の奴等のヒキがあるとかだつたらまだしもだが。

水夫一—それぢや、船虫は一生船虫で終らなけやいけないつてのか?

油差—そんな理由ぢやない、しかし、俺等のやうな貧乏人の一人や二人が、どんなにふんぞり反つた處で、何のつゝぱりにもなりやしないんだ。つまりこの世の中に資本主義つてえのが根を張つてゐる限り、我々勞働者は彼奴から虐待をうけるやうな仕組になつてるんだ。

火夫二—そんな事が判然とわかつてゐるくせに、どうしようともしないのか?

油差—馬鹿。だから、こんどでも神戶でストライキの火を燃やしつけて來たのは誰だ? 俺ぢやねえか。とにかく、我々は一人一人ぢやいけない、團結だ。

×

水夫二上甲板のタラップを降りて來る。

×

水夫二—(一同に)ヲーイ、いゝ事を聞いて來たぞ、神戶でいよ〱ストライキの火の手があがつたんだ。

一同—どうしてそれが判つた?

水夫二—今、サロンで、船長の奴と、ワイヤレースとが話していやがつたんだ。奴さん、俺らの耳に入れてはいけないつて云つてたよ、ヘヘヘヘ。

油差—うむ(微笑をうかべて)やつたな。(死體に)ヲイ上山、悦べ、貴樣の仇を打つてやるぞ。——こいつが生きてゐると悅ぶんだがなあ。

火夫一—ほんとだ、油差、こいつはとても元氣のいゝ、勇敢な奴だつたんだぜ。仲々死んだりする奴ぢやなかつたんだ。(過去を追憶しながら)忘れもしない俺と一緒に、××汽船會社にゐた頃だ、こいつは常にこんなことを俺に云つたよ「どうせ俺らは貧乏人の小倅に與いないんだ。だから學問なんてものはビンもねえんだから、出世する見込みもねえんだ。で、勞働者として行く位なら、どこの世界へだつて行かれるんだからどんな奴にだつてペコ〱頭をさげることはいらねえんだ」とね。そして、どんな士官であらうとこいつはてんで頭をさげやうとはしなかつたんだ。それで、とう〱終ひの果てにや、機關長の野郎に「うち虫の分才で、てめえの態度は何だ」と、殘粕のやうにやられたんだ。すると奴さん怒りやがつて、ヨーシ、一つ殘粕の力を見せてやらあ、と、いきなり黑い油だらけの手で機關長の橫面を撲ぐつたもんだ。とてもすばらしかつたよ。——だが、上の奴を撲つ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

たものだから堪らねえや、すぐ船は下船で、會社はお拂い箱だ。そしてまたまたこの會社へもぐり込んだものだが、俺とは仲々緣の深い奴だ。

×

夕陽が沈み、少し薄暗くなる。

汽關長上甲板に現れる。

×

汽關長―もうみな片づいたか？

火夫二―すみましたよ。

汽關長―すんだのなら表へ行つて―日の丸の一番新しいのを貰つて來て、一番上を包め。

×

汽關長サロンの方へ消る。

×

火夫一―何吐かしてるんだ、貴樣らに差圖受けなく共、判つてゐらあ。――さうだ、赤旗が出來上つたゞらう？

油差―さあ？　給仕長（ボーイチヨ）、トモへ行つて旗が書けたか見て來い。

給仕長―よし來た。（走り去る）

火夫二―人に好かれる奴は早く死ぬつて、こいつ、位氣のいゝ奴はなかつたがなあ。これでも資産家の息子で、學校出だつてみろ、もうとつくに機關長になつてるんだぞ。

火夫一―ほんとだ。

給仕長―出來たよ（旗を持つて來る）

火夫一―いよう、「民衆の旗、赤旗は」つていゝね。これで同志の屍を包むなんて、意味深長だぜ。

×

皆寄つて赤旗で鰹節型の死體を包む。

×

油差―こんどは線香にローソクだ。

×

給仕長トモへ走る。

一等運轉士（チーフメート）上甲板のタラツプを降りて來る。

×

一等運轉士（チーフメート）―もう出來たんだね。

水夫一二―あゝ。

一等運轉士―それぢや手の空いた者は誰でもいゝから、上山の持物をしらべて一々帳面へひかへて呉れ。遺留品の引渡書が要るんだから。（死體を包んだ赤旗を見る）何だ、こりや。日の丸ぢやないぢやないか、どうしたんだ？

火夫二―上山は死ぬ時「俺は水葬にされるんは一も二も覺悟だが、どうか俺の身體は赤旗で包んで呉れ」つて云つたんですよ。

一等運轉士―そんな馬鹿なこと――それや社會主義者のする事だ、早くとつちまへ。

油差―そりやあんたが無茶ですよ、遺言どほりにしてやらなきや、上山は迷ひますよ。

一等運轉士―そんな事あ俺の知つたことぢやない。とにかくそんな物は取つてしまへ。

一同―（言ひ合したやうに默つてゐる）

一等運轉士―（憤激甚しく）よし、船長に尋ねて來てやる。

×

サロンの方へ腹立しく行つてしまふ。

×

油差―馬鹿、貴樣等の出る幕ぢやない。

給仕長―ローソクに線香。

火夫二―よし來た（死體の前へローソクを灯し、線香を立てる）

×

八時の鐘が鳴る。

×

油差―交代時間だな（水夫等に）君達はどうも手傳つて呉れてすまなかつたね。さあ、これで終んだから、もう表へ歸つて呉れ。

水夫一―俺らはワツチがないんだから一緒に通夜してやるよ。

油差―さうかすまないね。

×

汽罐室から黑く汚れた顏をした水夫、油差出て來る。

×

火夫三―ヲイ、交代だぜ。

火夫二―よし――俺らは行つて來るから眠つてゐる奴を起しておいて呉れ。

火夫四—よし。表の人達も一緒に通夜してやるつてのだから。

×　　×

ワッチの者に交代し汽罐室に行く。

油差二—（行きかけた油差一に）ヲイ、杉浦、明日の手順はちやんと定つてゐるんだね。

油差一—言ふのを忘れてゐたよ、いよいよやつたんだ、神戸でストライキを。

油差二—通知があつたのか？

油差一—あつたんだ、表の者が聞いて來て呉れたんだ。

油差二—ちや明日、水葬と同時に、我々の意氣を示す可く、一時間程船をとめたらどうだ。

油差一—うむ、それもいゝ、ちやみなと協議をやつて置いて呉れ、こんなことは表の人達とも、一緒に相談しなきやいけないから。それから、水葬の折の弔辭を君にやつて貰いたいんだ。いゝかへ。（行く）

油差二—面白くなつて來るぞ、こいつは。

火夫三—ちや、いよいよストライキだね？

油差二—まあ、さうだ。（死體に向つて）ヲイ上山。俺達が勝つやうに祈つて呉れよ。お前の敵打ちだぜ。

火夫四—やるんだつたらこんどだけは敗けちやいけないぜ、この前の時でも、勝つたと思つたのが後になり敗けてゐるんだ。つまり會社は營利會社である限り、一つの損もしようとはしないんだ。言ひわけのために給料は少し上つたが、その反面には人數が減らされたんだもの、堪るものか。今迄四人でやつてゐた仕事を三人でやるなんて、ふん、少しの給料位にやかゝわらないや。だからこの上山でも、こんな暑さの中でえらい仕事と來たからあんな病氣にとりつかれてしまつたんだ。

水夫一—それが資本家のカラクリと云ふんだらう！　さうして、そのカラクリの畏にかゝつたが最後、絞つて絞つて絞り上げられて死んで行くのさ。

油差二—なんて不合理な——畜生、敗けるものか。

二幕

その翌日。

前と同じ場面。空は曇つてゐる。

×

水葬を見送る火夫、水夫、士官、乘客、その他の人々、死體の前に立並んでゐる。

——やがて船長死體の前に進んで、燒香をし、默禱をする。次はアメリカの宣教師が船長に交つて何か判らない祈りをあげる。

×

火夫一—（たまりかねて）ヲイ、退いて呉れ、俺達の同志は、お前達の判らぬ念佛で滿足するのと一寸異ふんだ。ヲイ高田、交つた交つた。

船長—馬鹿！貴樣はどうしたんだ。

火夫一—どうもしやしないや。俺は只、當然のことを云つてるだけだ。

宣教師—貴方達は、神の信念が判らない不幸な人です。

火夫二—俺らには神も佛もありやしないんだ。

船長—貴樣等は亂暴に出ると承知しないぞ。

油差—承知しなけりやどうするつてんだね？

船長—（腹立しく水夫長に）ヲイ、火夫長、貴樣は何をぼんやりしとるのか？

火夫長—今の奴らは、仲々私の事なんか聞きませんよ。

船長—貴樣等は——畜生、おぼへておれ。

油差二—（死體の前に進み、悲壯な口調で）上山君、上山君、僕は一同に代表して立たせて貰つた高田です。僕は今、最後の君に向つて、心から一同になり代つて哀悼の意を表し、且君の過去何年かにわたつての功績を申し上げます。思ふに君は、我々海上勞働者の典型的人物であり、そしてすべてが先驅者でありました。——あの一昨年のストライキの際にも君は

船長—中止だ。

油差二—（そんな事位がはずに）よく我々のために奮闘して呉れました。

船長—中止だつてのに、馬鹿。

油差二—何故中止するんです。

船長—言はなく共いゝ事を言ふからだ。

油差二—こんな事位何が差支へるんだ。馬鹿馬鹿しい。

一等運轉士—貴樣はなんて非常識なんだ。船長は警察權を持つてゐるんだぞ。

油差—それがどうした？

機關長—貴樣は横からだまつておらんか、首にするぞ。

油差—首にする。馬鹿野郎。

機關長—何、貴樣は俺を何と心得とる。

油差—お前さんの職名は機關長さ。だが俺らに言はすると、我々を酷使つて毎日うまい物を食つて、安閑と遊んでゐる奴さ。

機關長—この野郎、おぼへてゐやがれ（油差の胸を突く）

油差—お前達は、弱い者をいぢめるより外に何にも知らないんだね。今にこつちがおぼへてゐやがれだ。

火夫二—ヲイ、そんなとは後まわしにして俺らの手で早く水葬にしてやらう。

油差一二—よし。

×

火夫四人、油差二人とに依つて、死體は赤旗に包れたまゝ、サイドのレールの上から板に滑せて海に落し入れる。

×

油差二—（海に向つて）上山、上山。

×

哀悼の意を表す汽笛が悲しさうに少時の間鳴り響く。一同沈默、中にすゝり泣く者もある。

×

——やがてエンヂンの音が止り、共に船の進行も止る。

×

機關長—エンヂンが止つたではないか？

船長—こりやいけない。どうしたんだ？

油差—どうもしやしないよ、エンヂンを止めたから船が止つただけだ。

機關長—何故止めた？

油差—俺等の力を示す可く止めたんだ。

機關長—馬鹿、早く出さんか。

火夫二―俺らの苦痛は、毎日のんべんぶらりと遊んでゐるお前さん達にや判りやしないんだ。船が動かして見たけりやお前さん達が動かすがいゝや。
―だが、心配しなく共いゝよ、やがて動してやるから。
船長―貴樣達はこの俺を馬鹿。（火夫二の横面を撲る）
火夫二―この野郎（すぐ殴り返す）
船長―馬鹿（武者ぶりつくので激しい格鬪がはじまる）
一等運轉士―この野郎。（船長に加勢する）
火夫水夫―やつてしまへ。（異口同音に激しく叫んで船長を撲り、大混亂に至る）

×

同時に急激に幕が降りる。
―やがて、萬歲の喚起り、甲板の上を示威運動をしてゐるらしく、雄々と濶歩する音と、×旗の歌とが聞へて來る。

×

一九二九、九、二

編輯後記

濱口內閣は、田中反動內閣に比して遜色のない、否むしろそれ以上の反動主義者である。日本ブルヂョアジーの戰爭準備のため、九月下旬より敎化總動員をもつて、マルクス主義に挑戰し初める。赤色デーを前に控へて八月號左翼雜誌はこと〴〵く發禁である「インターナショナル」「戰旗」「國際文化」「法律戰線」等々、わが「進め」もその例に洩れなかつた。

×

七、八兩號にわたる發禁によつて、本社は少なからざる財政的動搖を受け、九月號は遂に休刊するの止むなきに至つた。殊に八月號は納本前に押收處分を受け、殆ど讀者の手に渡らないと云てもいゝ。

今後、發禁は頻々と襲來するであらう。われ〳〵は發禁をおそれてはならない。しかし發禁に對抗し得るだけの方法を講じなければならない。それは讀者網の確立である。讀者は街頭の新聞店や、書店に出るのを待つてゐては駄目である。發禁になれば、書店へ出ない前に押收されるからである。讀者は直接讀者となる事だ。二三名でも讀者のあるところは支局をつくつて申込んでおく事だ。

×

本號は、九月號に當然掲載すべきものを餘儀なく廻したゝめ記事が幾分古いといふ感がないでもない。

又、農村に關する記事が少ないとの從來の批評からしてコロラウの「勞農の××的同盟」の譯文と、全國農民組合新潟縣聯合會の大會で可決された組合青年部組織に關する方針書を掲げた。

前者は、何故勞働者と農民は同盟すべきかに就て究明してあり、尙、現在全國農民組合が掲げてゐる「土地を農民に與へよ」のスローガンの說明が行はれてゐる。後者は農村における××青年同盟の貯水池としての重大な役割を果たすべき農民組合青年部の組織方針であり、農村における戰鬪的青年分子の批判の對象となるであらう。農業調査の本質ペクロは、全農關東地方協議會の出版物を利用した。

關東合同大會記と、その席上において徹底的に曝露された。望月組合長の裏切りは、社會民主々義者の正體を遺憾なく示してゐる。日本勞働總同盟の分裂及び勞農派の內紛の事件は、原稿擔當者の病氣のため、掲載する事が出來なかつた。社會主義運動思出話は一同休載。

×

大山郁夫氏の新勞農黨樹立の提案は、卷頭言において示してある樣に、第二の勞農派であり、水長の再生產だ。われ〳〵は絕對に反對する。この提案は、街頭分子の弱點を遺憾なく表現してゐる、此の提案は紛碎されるであらうし亦しなければならぬ。

×

ある同志の批評に答へる。勿論これは單にその一同志のみに答へるべき問題でないからである。全國の同志讀者に是非提起したい事である。

一同志の「進め」の內容に對する批評は次の如くである。「進めは最近非常にむづかしくなつて來た。農村においては讀者が減つて行く一方だ。もつと大衆的にすべし」と。

私は、農村における讀者が減少しつゝあるとは思はない。これは部分的な傾向である。しかし、この批判に答へる事は必要である。理論的になり過ぎて大衆が讀まなくなつたと。勿論、難解に記事をつくる事はいゝ事ではない。なるべく大衆的に易き編輯をするために努力をしてゐる。しかし、雜誌のみを持込んで行つて雜誌のみですべてを諒解させ樣と考へたたら誤謬である。雜誌の中にわかりにくい個所があつたら說明してやるのが支局の任務ではないか。研究會、讀者會の組織をつくつて大衆化させなければならぬ。雜誌のみで大衆化させようとするのは意義を有しない。組織的大衆化でなければならぬ。

「進め」は「キング」ではない。階級鬪爭の機關であり組織的に大衆化されねばならない。如何に平易に書いても思想雜誌である限り。未組織農民には、說明を加へてやらねばよく諒解させる事は出來ない。支局は研究會をもつて進めを大衆化せよ。

×

讀者は、勞働體驗、鬪爭記錄、戰報その他是非送つてほしい。「進め」を大衆的に編輯するためには原稿の豐富にある事が一番必要だから。尙、「進め」の編輯方針、內容に對して意見なり、批判なりを送つて貰ひたい。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

布施辰治主幹

法律戰線

▼九月特輯號出來！

新勞農黨樹立提案の批判

河上肇　竹尾弌　奈良正路　內藤辰雄　山根積　山崎今朝彌
高畠春二　石田宥全　深川武　山田清三郎　國際文化研究所
香川健二　全日本無產者藝術團體協議會　產業勞働調査所
布施辰治

▼時評……布施辰治
◇「緊縮」とは何か？
◇濱口內閣の所謂失業問題對策
◇吾々は露支問題を斯く見る
◇發賣禁止對策の唯一點
◇不景氣と緊縮政策
◇無罪判決に戰ひとつた二つの勝利
◇所謂「政變」の階級的意義に對する批判の批判
大海明・西鄉廣盛・藤野武郎・今井要・山內豚三郎
◇ガス値下鬪爭のおぼへ書……田村晃

▼質疑應答……布施辰治
◇勞働者は產業犧牲者救援會へ　◇小作人同志の結束と永小作權の確認
◇耕地整理は地主のみの專行事業ではない　◇缺席判決をどう戰ふか
◇保證責任と保證心理　◇家賃値下運動と家賃の割出
◇「緊縮」政策と搾取の合理化
小生夢坊・小林一雄・江口渙・吉田綱十郎・細迫兼光・山崎今朝彌・美甘久雄
加藤勘十・李哲・佐藤袈裟美・牧野充安・中村高一・山根積

定價一部二十錢
全國各書店にあり

法律戰線社
東京・高田・雜司谷
振替東京三六四五五

週刊 月曜日發行

日本社會運動通信

―(掲載要目)―

無產政治運動
勞働組合運動
勞働爭議
農民運動
小作爭議
電燈料値下運動
電車爭議
俸給生活者運動
水平社解放運動
無產青年運動
無產婦人運動
消費組合運動
國際情報
植民地諸運動
勞働賃銀調査
物價經濟調査

定價 1ヶ月 20圓 1ヶ年 200圓

日本社會運動通信社發行

東京市芝區櫻田本鄉町一四

振替東京七八五五九番・電話銀座五五四一番

實用本位の百貨店

高島屋

お客様本位の百貨店

東京上野 良品廉實 銀座

松阪屋

大阪日本橋 實用百貨 名古屋

婦人良薬

喜谷實母散

産前、産後、
血の道、引風、
冷込等に特効有

▲全國到る處に販賣す

本舗

東京橋區中橋大鋸町

喜谷市郎右衛門

電話京橋 五五番 五六番

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可 第七年第八號 定價一部十錢（郵稅五厘）半年六十錢一年一圓（郵稅共） 發行所 東京市外大井町阪下二六八〇（振替東京六六八〇三） 進め社本社